課室名: 会計課 担当名: 予算係

内線: 2235 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 説明事業 款 Ħ -般会 | 警察費 | 警察管 | 警察本部費 一般行政費 警察情報管理システムの合理化・高度化 理費 令和 5年度~ 根 拠 警察法 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 SDGsゴール 16 針路 法 令 期間 分野施策 | 0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上 SDGsターゲット 16-6 1 事業概要 5 事業説明

警察情報システムの合理化・高度化による標準化を図 (1) 事業内容 り、高度な警察活動を実現する。

ア 運転者管理システム共通基盤化対応経費

409,164千円

イ 共通基盤対応情報共有化端末整備関係経費

14,268千円 ウ マイナンバーカードと運転免許証の一体化関係 経費 33.302千円

- エ 警察行政のデジタル化推進に向けた環境整備 100,145千円
- オ 警察情報管理システムの合理化・高度化に向けた 端末整備 33,961千円
- カ 運転免許証申請自動受付装置の導入 7.107千円
- 2 事業主体及び負担区分 (県10/10)
- 3 地方財政措置の状況 なし
- 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5,6人=53,200千円

ア 運転者管理システム共通基盤化対応経費

409,164千円 14,268千円

- イ 共通基盤対応情報共有化端末整備関係経費
- ウ マイナンバーカードと運転免許証の一体化関係経費 33,302千円
- エ 警察行政のデジタル化推進に向けた環境整備 100,145千円
- オ 警察情報管理システムの合理化・高度化に向けた端末整備 33,961千円
- カ 運転免許証申請自動受付装置の導入

7,107千円

(2) 事業計画

警察庁において、手続のオンライン化、全国一元的システムの運用を図るため、令和5年度から8年度に かけて、警察庁及び全国都道府県警察のシステムを標準化する警察共通基盤システムの運用が開始されるに あたり、自県システムのデータ移行や必要となる機器・端末の整備等を実施する。

- (3) 事業効果
  - 警察が所管する行政手続きのオンライン化を可能とし、県民の利便性向上と負担軽減
  - システムの合理化・高度化による高度な警察活動

【活動指標(アウトプット)】 運転免許手続のオートメーション化

【成果指標(アウトカム)】記載変更手続のワンストップ化、更新時講習のオンライン化

			財 源	内 訳			前年しの
	予算額					一般財源	前年との 対比
決定額	597, 947					597, 947	409, 021
前年額	188, 926					188, 926	

事業名	警察情報管理システムの合理化・高度化		
単位事業名	運転者管理システム共通基盤化対応経費	予算額	409, 164千円

 ○歳入
 (単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 409, 164
 409, 164

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

409, 164

409, 164

合計

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	15, 332	15, 332	運転免許証申請自動受付装置関係消耗品等
役務費	406	406	行政処分通知関係費用
委託料	317, 625	317, 625	データ移行及びシステム改修委託
使用料及び賃借料	70, 584	70, 584	運転免許証申請自動受付装置借上料
備品購入費	5, 217	5, 217	行政処分通知書作成用機器
合計	409, 164	409, 164	

単位事業名	共通基盤対応情報	战共有化端末整備 <b>[</b>	予算額	14, 268千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	14, 268	14, 268			
合計	14, 268	14, 268			
<u>○歳出</u>					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	14, 268	14, 268	端末装置借上料		
合計	14, 268	14, 268			
単位事業名	マイナンバーカー	・ドと運転免許証の	の一体化関係経費	予算額	33, 302千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	33, 302	33, 302			
合計	33, 302	33, 302			

単位事業名	マイナンバーカードと運転免許証の一体化関係経費	予算額	33, 302千円
-------	-------------------------	-----	-----------

**○**歳出

			(辛匹:111)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1, 589	1, 589	マイナンバーカードー体化対応関係消耗品
委託料	9, 695	9, 695	オンライン更新時講習用動画作成委託
使用料及び賃借料	18, 234	18, 234	マイナンバーカードー体化対応機器借上料
工事請負費	3, 340	3, 340	LAN回線工事
備品購入費	444	444	オンライン更新時講習用端末装置
슴計	33, 302	33, 302	

単位事業名	警察行政のデジタル化推進に向けた環境整備	予算額	100, 145千円
-------	----------------------	-----	------------

〇歳入 (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	100, 145	91, 756	
合計	100, 145	91, 756	

単位事業名	警察行政のデジタ	ル化推進に向けた	予算額	100, 145千円	
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	100, 145	91, 756	6情報通信ネットワーク機器借上料		
合計	100, 145	91, 756			
単位事業名	警察情報管理シス	、テムの合理化・高	高度化に向けた端末整備	予算額	33, 961千円
○歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	33, 961	18, 385			
合計	33, 961	18, 385			
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	33, 961	18, 385	端末装置等借上料		
合計	33, 961	18, 385			

単位事業名	運転免許証申請自	予算額	7, 107千円		
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	7, 107	4, 957			
合計	7, 107	4, 957			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	7, 107	4, 957	運転免許証申請自動受付装置低	<b>当上料</b>	
合計	7, 107	4, 957			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

**内線: 2235** (単位:千円)

番号	事業名		会計	款	項		1 1///	説明事業	(+12:111)
P1 ペーパーレス化推進事業			一般会	警察費		警察本部費	一般行政費		
			計		理費				
事 業   令和 6年度~   根 拠   警察 期 間   法 令	法				針路 }野施策		暮らしの安心確保 策の推進と捜査活動の強	SDGsコ゛ール 1 3化 SDGsターケ゛ット 1	
1 事業概要		業説明		,				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
埼玉県DX推進計画に掲げる「テ		事業内容							
力の現場シフト」を実現するため、		ペーパーレス	化推進に	.向けた弱	環境整備	9'	7,122千円		
けた環境を整備し、紙による事務作 で、県警察のデジタルトランスフォ		事業計画							
く推進させる。			化支援ソ	フトウコ	ェア及び'	電子文書保管用	のファイルサーバを導入	することで、ペーパー	-レス
					目いた事	務作業からの脱	却を図り、県警察のデジ	タルトランスフォーメ	ーシ
ペーパーレス化推進に向けた環境	竞整備 97,122千円 ョ	ンを大きく推	進させる	0					
	(3)	事業効果							
			料の電子	化による	5効率的	なデータ共有や	有効活用		
						・資料の電子化			
		【成果指標(	アウトカ	ム)】系	氏の削減				
2 事業主体及び負担区分									
(県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新	「設、改廃及び増員								
9,500千円×0.1人=950千円									
		財	源	内	訳				
予算額		<u> </u>	INI	1 1	H/ \			一般財源	前年との
									対比
決定額 97,122								97, 122	97, 122
前年額 0								0	

事業名	ペーパーレス化推進事業		
単位事業名	ペーパーレス化推進に向けた環境整備	予算額	97, 122千円

<u>○歳入</u> (単位:千円)

O MX / C			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	97, 122	97, 122	
合計	97, 122	97, 122	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

			( <del></del>
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	80, 088	80, 088	ペーパーレス化支援ソフトウェアライセンス料
委託料	1, 408	1, 408	ペーパーレス化支援ソフトウェア導入経費
使用料及び賃借料	15, 626	15, 626	サーバ機器借上料
合計	97, 122	97, 122	

前年額

98,917

課室名:会計課 担当名:予算係

98, 917

ICTの活用による多様で柔軟な働き方の環境整備 一般会 警察費 警察管 警察本部費 一般行政費 理費 県民の暮らしの安心確保 令和 4年度~ 根 拠 警察法 針路 SDGs¬¬N 16 期間 法 令 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 テレワーク環境の整備により、職員が持てる能力を (1) 事業内容 フルに発揮できる柔軟な勤務環境を構築し、警察力の ア テレワーク端末の拡充整備(端末250台の追加整備に要する経費) 118,797千円 維持・向上を図る。 イ テレワーク端末の試行運用(試行用端末50台の運用経費) 98,917千円 ア テレワーク端末の拡充整備 118,797千円 (2) 事業計画 イ テレワーク端末の試行運用 テレワーク環境の整備により、職員が持てる能力をフルに発揮できる柔軟な勤務環境を構築し、警察力の 98.917千円 維持・向上を図る。 (3) 事業効果 ・ テレワークを選択できる環境が整備され、職員の働き方の選択肢が広がる。 業務プロセスのデジタル化が促進され、ペーパレス化も加速する。 【活動指標(アウトプット)】テレワーク端末の250台拡充整備 【成果指標(アウトカム)】柔軟な働き方の実現 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 (既存分) 9.500千円×0.1人=950千円 人件費(増員分) なし 組織の新設・改廃 なし 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 決定額 217, 714 217, 714 118, 797

事業名	ICTの活用による多様で柔軟な働き方の環境整備		
単位事業名	テレワーク端末の拡充整備	予算額	118, 797千円

 ○歳入
 (単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 118,797
 118,797

〇歳出

118, 797

118, 797

合計

			(丰匠:11]/
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	18, 321	18, 321	回線使用料
委託料	43, 890	43, 890	サーバ機器改修経費
使用料及び賃借料	56, 586	56, 586	モバイルパソコン借上料及びソフトウェアライセンス使用料
合計	118, 797	118, 797	

単位事業名	テレワーク端末の試行運用	予算額	98, 917千円
-------	--------------	-----	-----------

<u>○歳入</u> (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	98, 917	0	

単位事業名	テレワーク端末の試行運用			予算額	98,917千円	
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
合計	98, 917	0				
○歳出					(単位:千円)	
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
役務費	3, 575	0	回線使用料			
使用料及び賃借料	95, 342	0	モバイルパソコン及びサーバ根	機器借上料		
合計	98, 917	0				

課室名:会計課担当名:予算係

内線: 2235 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 説明事業 款 Ħ 情報技術(IT)活用総合対策経費 -般会 | 警察費 | 警察管 | 警察本部費 一般行政費 理費 平成 8年度~ 根 拠 警察法 支え合い魅力あふれる地域社会の構築 SDGsゴール 16 針路 法 令 期間 分野施策 | 0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上 SDGsターゲット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 警察情報の発信のために不可欠な機器の整備及び警察 ((1) 事業内容 ア インターネットパソコン更新経費 活動の効率化に資するシステム構築を実施する。 情報発信用インターネットパソコン52台 2.946壬円 イ 働き方の新しいスタイルに対応した警察基盤の構築経費 ア インターネットパソコン更新経費 Web会議システム、セキュアモバイルシステムの運用 2,946千円 イ 働き方の新しいスタイルに対応した警察基盤の 124,150千円 5.390千円 124.150千円 ウ 情報システム構築に係るコンサルティング経費 情報システム構築支援業務委託 ウ 情報システム構築に係るコンサルティング経費 エ 先端技術の活用における警察活動の質的向上 ソフトウェア運用支援委託、サーバ借上料等 30,414千円 オ 部外(事業者)とのリモート会議環境の整備 パソコン10台及び回線使用料等 1,295千円 5.390千円 エ 先端技術の活用による警察活動の質的向上 30,414千円 (2) 事業計画 オ 部外(事業者)とのリモート会議環境の整備 インターネットパソコン計252台の計画的な更新 1,295千円 Web会議システムやセキュアモバイルシステム、RPA等各種システム・技術を活用した効率的な業務の推進 (3) 事業効果 2 事業主体及び負担区分 警察情報の発信のために不可欠な機器の整備及び警察活動の効率化に資するシステムの運用を図ることにより、県 (県10/10) 民サービスの向上、第一線の捜査活動の強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することができる。 【活動指標(アウトプット)】Web会議の実施、セキュアモバイルシステムによる効率的な情報共有、RPA・AI-OCR による業務支援 【成果指標(アウトカム)】会議に係る移動時間の短縮や効率的な情報共有による警察力の現場シフト、定型業務 3 地方財政措置の状況 の自動化・省力化 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0,7人=6,650千円 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 決定額 164, 195 164, 195  $\triangle 8,363$ 前年額 172, 558 172, 558

事業名	情報技術(IT)	活用総合対策経費	<b>\$</b>		
単位事業名	インターネットハ	パソコン更新経費		予算額	2,946千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	2, 946	598			
合計	2, 946	598			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	2, 946	598	インターネットパソコン借上೫	斗	
合計	2, 946	598			
単位事業名	働き方の新しいス	、タイルに対応した	と 警察基盤の構築経費	予算額	124, 150千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	124, 150	△9, 267			
合計	124, 150	△9, 267			

単位事業名	働き方の新しいス	(タイルに対応し)	た警察基盤の構築経費	予算額	124, 150千円
<u>○歳出</u>					(単位:千円)_
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	100	0	  Web会議システム用消耗品 		
役務費	11, 360	△9, 267	回線使用料		
使用料及び賃借料	112, 690	0	サーバ機器借上料		
合計	124, 150	△9, 267			
単位事業名	情報システム構築	ミに係るコンサル <del>・</del>	ティング経費	予算額	5, 390千円
○歳入				-	(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	5, 390	0			
合計	5, 390	0			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	5, 390	0	 情報システム構築支援業務委訂 	ŧ	

単位事業名	情報システム構築	ミに係るコンサル <del>-</del>	ティング経費	予算額	5, 390千円
					(単位:千円)_
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
合計	5, 390	0			
単位事業名	先端技術の活用に	よる警察活動の質	質的向上	予算額	30, 414千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	30, 414	306			
合計	30, 414	306			
○歳出					 (単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	3, 083	0	ソフトウェア運用支援委託		
使用料及び賃借料	27, 331	306	ソフトウェアライセンス使用	料、サーバ機器借上料	ł
合計	30, 414	306			

単位事業名	部外(事業者)と	外(事業者)とのリモート会議環境の整備			1, 295千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	1, 295	0			
合計	1, 295	0			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
役務費	257	0	回線使用料		
使用料及び賃借料	1, 038	0	リモート会議用パソコン借上米	<u></u>	
合計	1, 295	0			

146,673

172,889

6,200

前年額

課室名: 会計課 担当名: 予算係

140, 127

166, 689

内線: 2236 (単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業 一般会 警察費 警察管 装備費 車両充実費 車両充実費 P22 理費 根 拠 警察法 県民の暮らしの安心確保 事業 昭和29年度~ 針路 SDGs¬¬N 16 02 期間 法 令 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 車両の稼働状況や経年使用に伴う損耗状態を的確に把 (1) 事業内容 車両更新関係経費 備品購入費(地域警察官警ら用バイク等74台) 146,673千円 握し、計画的な更新整備を実施する。 車両更新関係経費 (2) 事業計画 146,673千円 令和6年度警察車両の更新整備計画 • 四輪車 39台 • 原付車 35台 合計 74台 (3) 事業効果 耐用年数を超え老朽化した車両を減耗更新することにより、修繕料の節減と効果的な車両の運用を図る。 令和5年度 令和4年度 令和3年度 • 四輪車 41台 41台 52台 ・原付車 35台 40台 65台 2 事業主体及び負担区分 合計 76台 81台 117台  $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10) 【活動指標(アウトプット)】警察車両の購入 【成果指標(アウトカム)】現有警察車両台数の維持 3 地方財政措置の状況 普通交付税 (単位費用) (区分)警察費(細目)警察管理費 (細節)装備費 (積算内容)都道府県警察費補助金対象経費 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.3人=2,850千円 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 国庫支出金 対比 決定額 6,546  $\triangle 26, 216$ 

事業名	車両充実費		
単位事業名	車両更新関係経費	予算額	146, 673千円

\_**○**歳入

<b>し</b> 別処 ノく			(丰盛:111)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	6, 546		装備費補助金 補助率 5/10
一般財源	140, 127	76, 684	
合計	146, 673	77, 030	

〇歳出 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	146, 673	77, 030	四輪車39台、二輪車35台
合計	146, 673	77, 030	

課室名: 会計課 担当名: 予算担当 内線: 2236

**勺線: 2236** (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	目		説明事業	
N48	警察装備関係経費			一般会計	警察費	警察管 理費		車両維持費		
事業期間	昭和29年度~ 根 拠 法 令	警察法				針路 分野施策		暮らしの安心確保 策の推進と捜査活動の	SDGsコ゛ール 強化 SDGsターケ゛ッ	
警察 管理を	業概要 活動を遂行する上で必要 適切に行い、効果的に業 維持関係経費		車両維持関係 (2) 事業計画 自動車の修理 る。 (3) 事業効果	旦用消耗品	場を効力	果的に活ん	用し、現有する	、公課費等警察車両の約 警察車両等の長期使用を 職務執行能力の確保を図	1,070,723千円 と見込んだ計画的な点	検整備を実施す
	業主体及び負担区分 ・県1/2)、(県10/10)									
普通交 (区分) (細節) (積算) 4	方財政措置の状況 付税(単位費用) 警察費(細目)警察管理費 装備費 内容)都道府県警察費補助 業費に係る人件費、組織 千円×0.6人=5,700千円	」金対象事業	員							
	T			· 源	内	訳				
	予算額	国庫支出金		又入	1 3	H/X			一般財源	前年との 対比
決定	額 1,070,723	359, 675	6, 292	5, 366	5				699, 390	$\triangle 2,777$
前年	額 1,073,500	452, 403	8, 736	6, 002	2				606, 359	

事業名	警察装備関係経費		
単位事業名	車両維持関係経費	予算額	1, 070, 723千円

〇歳入 (単位:千円)

_〇歳人			(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	359, 675		装備費補助金 補助率 5/10
財産収入・ 物品売払収入	6, 292	△2, 444	車両、廃油 等
諸収入・ 雑入	5, 366	△636	交通事故車両損害賠償金 等
一般財源	699, 390	93, 031	
合計	1, 070, 723	△2, 777	

**○**歳出 (単位:千円)

			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	921, 046	△2, 271	消耗品、車両燃料費、自動車修繕料等
役務費	100, 631	△8, 333	自動車保険料等
公課費	49, 046	7, 827	自動車重量税

単位事業名	単位事業名 車両維持関係経費			予算額	1, 070, 723千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
合計	1, 070, 723	△2,777			

予算額

7,694

398, 252

決定額

前年額

県 債

360,000

課室名:会計課担当名:予算係

前年との

対比

 $\triangle 390,558$ 

一般財源

7,694

38, 252

内線: 2234 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 目 説明事業 款 一般会 警察費 警察管 装備費 ヘリコプター活動経費 ヘリコプター活動経費 P23 理費 昭和53年度~ 根 拠 警察法、航空法、警察用航空機の運用等に関する規則 災害・危機に強い埼玉の構築 SDGs¬¬¬№ 3, 13, 16 針路 令和 6年度 法 令 分野施策 0101 期間 危機管理・防災体制の再構築 SDGsターゲット 3-6, 13-1, 16-1 1 事業概要 5 事業説明 警察用航空機「むさし」の機体整備に必要な工具を整 ((1) 事業内容 備し、適切に維持管理することにより、ヘリコプターの むさし機体更新に伴う物品の購入 法定点検に必要な特殊工具の整備経費 7,694千円 特性を活かした警察活動を推進する。 (2) 事業計画 むさし機体更新に伴う物品の購入 「むさし」の整備に必要な専用工具(ハイドロリック・ポンプ・ドライブ)の購入による自隊整備の実施 7,694千円 (3) 事業効果 ア 自隊整備による機体整備コストの削減及び整備期間の短縮 イ 適正な維持管理を行うことで、安全の維持と機体寿命の延長を図り、ヘリコプターの特性を活かした警察活動を 実施する。 【活動指標(アウトプット)】自隊整備による整備期間の短縮約30日 【成果指標(アウトカム)】ヘリコプター2機以上稼働体制の維持290日 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし 財 源 内 訳

事業名	ヘリコプター活動	ヘリコプター活動経費			
単位事業名	むさし機体更新に	むさし機体更新に伴う物品の購入			7, 694千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	7, 694	△29, 758			
合計	7, 694	△29, 758			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	0	△37, 452			
備品購入費	7, 694	7, 694	機体点検用工具購入費		
合計	7, 694	△29, 758			

前年額

317, 477

80,760

課室名:会計課担当名:予算係

236, 717

内線: 2234 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 目 説明事業 款 一般会 警察費 警察管 装備費 ヘリコプター活動経費 ヘリコプター活動経費(装備費) N59 理費 根 拠 警察法、航空法、警察用航空機の運用等に関する規則 災害・危機に強い埼玉の構築 昭和53年度~ 針路 01 SDGs="-N 3, 13, 16 期間 法 令 分野施策 | 0101 危機管理・防災体制の再構築 SDGsターゲット 3-6, 13-1, 16-1 1 事業概要 事業説明 保有する3機の警察へリコプターを運航するために必 (1) 事業内容 要な維持管理を適正に実施し、ヘリコプターの特性を活 ア 維持管理経費 かした警察活動を推進する。 定期点検用消耗品、修繕料、無線機及び予備品点検手数料等 61,489千円 イ 活動関係経費 ア 維持管理経費 ヘリコプターテレビシステムの借上料、整備用資機材購入費、航空燃料等 61,489千円 138,604千円 ウ 特別点検経費 イ 活動関係経費 138,604千円 ウ 特別点検経費 128,580千円 整備マニュアルに規定される特別点検の実施にかかる経費 128,580千円 (2) 事業計画 ア ヘリコプター3機(むさし・さきたま・みつみね)の運航・管理 イ ヘリコプターの予備品点検 ウ ヘリコプターテレビシステムの効果的運用 (3) 事業効果 2 事業主体及び負担区分 適正な維持管理を行うことで、安全の維持と機体寿命の延長を図り、ヘリコプターの特性を活かした警察活動を実  $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10) 施する。 【活動指標(アウトプット)】自隊整備による整備期間の短縮約30日 【成果指標(アウトカム)】ヘリコプター2機以上稼働体制の維持290日 3 地方財政措置の状況 普通交付税(款)警察費(細目)警察管理費(細節)装備費 (積算内容)都道府県警察費補助金対象経費(1/2) 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 国庫支出金 対比 決定額 90,805 328,673 237, 868 11, 196

事業名	ヘリコプター活動経費(装備費)		
単位事業名	維持管理経費	予算額	61,489千円

\_**○**歳入

			(丰臣: 11)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	16, 511	490	装備費補助金 補助率5/10
一般財源	44, 978	△1, 158	
合計	61, 489	△668	

**○**歳出 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	48, 702	2, 169	整備用消耗品、機体修繕料等
役務費	11, 980	△2, 626	点検手数料
負担金、補助及び交付金	807	△211	整備士講習負担金
合計	61, 489	△668	

単位事業名 活動関係経費	予算額	138, 604千円
--------------	-----	------------

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

<u> UMX</u> / ₹			(十 <b>年:113</b> )
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	18, 825		装備費補助金 補助率5/10
一般財源	119, 779	△19, 984	
合計	138, 604	△21, 524	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	46, 836	2, 187	消耗品、ジェット燃料等
役務費	1, 861	△143	対人、対物保険料等
委託料	1, 925	0	システム保守委託
使用料及び賃借料	86, 200	△24, 638	システム使用料
備品購入費	1, 623	1, 043	航空機維持管理関係備品購入費

単位事業名	活動関係経費			予算額	138, 604千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
負担金、補助及び交付金	159	27	訓練等負担金		
合計	138, 604	△21, 524			
単位事業名	特別点検経費			予算額	128, 580千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庫支出金 • 警察管理費補助金	55, 469	11, 095	装備費補助金 補助率5/10		
一般財源	73, 111	22, 293			
合計	128, 580	33, 388			
					 (単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	121, 137	26, 737	機体点検に伴う修繕料		

単位事業名	特別点検経費	予算額	128, 580千円

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	7, 443	6, 651	資機材点検手数料 
合計	128, 580	33, 388	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

 番号
 事業名
 会計
 款
 項
 目
 説明事業

野教育   日本   中本   中本   中本   中本   中本   中本   中本	田 7		五印			<b>⊢</b>			ルツチ米	
期     全和 6年度	P10 高齢者講習施設庁舎建設費(3か年継続事業	第3年次)	一般会計			警察施記	設費	高齢者講習施設庁舎建設	<b>と費(継続事業第</b> 3年	次支出額)
高齢者人口の増加に伴い、高齢者の免許保有者も増加 することが予想されており、それに対応するため、新た な高齢者諸智施設を整備かるもの。 高齢者諸智施設を整備かるもの。 (3)か年継続事業第3年次) 119,075千円 2 建設概要 ア 所在地 さいたま市岩槻区大字馬込字十番2100番5 イ 数地面積 42,720,43m <sup>2</sup> ウ 庁舎規模 RC - 2 F 6,286,38m <sup>2</sup> 工 整備計画 令和2年度~令和6年度 (3)事業計画 庁舎整備に係る総事業費 6,992,267千円 ア 令和2年度~3年度 調査設計費 158,016千円 ア 令和4年度~6年度 庁舎建設 (旧施設一部解体含む) 6,834,251千円 ウ 令和6年度中 施設運用開始予定 (4)事業効果 高齢者の増加に伴い、高齢者の選転免許更新対象者も増加傾向にあり、受講待ち日数の更なる増加が見込まれるとから、技本的な対策として、新たに高齢者諸智施設を整備することで、受講待ちの解育を図る。また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をテーマとした付加機能を ける。 また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をテーマとした付加機能を ける。 また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をテーマとした付加機能を ける。 また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をデーマとした付加機能を ける。			•		針路					
(県10/10) (4) 事業効果 高齢者の増加に伴い、高齢者の運転免許更新対象者も増加傾向にあり、受講待ち日数の更なる増加が見込まれるとから、抜本的な対策として、新たに高齢者講習施設を整備することで、受講待ちの解消を図る。また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をテーマとした付加機能をける。 【活動指標(アウトプット)】建設工事 【成果指標(アウトカム)】運用開始、講習等の受け入れ枠の増加 が現り、「成果指標(アウトカム)】運用開始、講習等の受け入れ枠の増加 が見込まれる。 また、来庁する高齢者を対象に「交通安全教育」、「社会参加促進」、「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「活動指標(アウトカム)】 連別用開始、講習等の受け入れ枠の増加 が見込まれる。 「おりまた。」 「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をテーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「歯科保健」をデーマとした付加機能をはいる。 「おりまた。」 「もなりまた。」 「おりまた。」 「もなりまた。」 「はなりまた。」 「なりまた。」	高齢者人口の増加に伴い、高齢者の免許保有者も増加することが予想されており、それに対応するため、新たな高齢者講習施設を整備するもの。 高齢者講習施設整備のための経費 (3か年継続事業第3年次) 119,075千円	<ul> <li>(1) 事業内容ア 継続報要ア 無続報要アイ動物・ 京舎 報報</li></ul>	さいたま 42,720.43 RC-2] 令和2年 る総事業 る総事業 ~3年度 ~6年度	市岩槻区 3 m <sup>2</sup> F 6,28 E 0,0 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	E大字馬ù 86.38㎡ 16年度 92,267千 设計費 建設(旧店	込字十番 ·円	·2100番:	5 158, 016千円		
マログロ リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(県10/10) 3 地方財政措置の状況なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	高齢者の増加し とから、抜本的 また、来庁す ける。 【活動指標(ア	な対策と る高齢者を プウトプッ	して、新 を対象に ・ト)】	fたに高聞 に「交通を は設工事	静者講習 安全教育	ア施設を駅 「」、「社	整備することで、受講待 社会参加促進」、「歯科(	ちの解消を図る。	
		財	源	内	訳					***
	予算額 県債								一般財源	削年との 対比
										$\triangle 5,637,813$
前年額 5,756,888 5,617,000 139,888	前年額   5,756,888   5,617,000								139, 888	

事業名	高齢者講習施設庁舎建設費 (3か年継続事業第3年次)		
単位事業名	高齢者講習施設整備のための経費(3か年継続事業第3年次)	予算額	119,075千円

 ○歳入
 第・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 119,000
 △5,498,000
 警察署庁舎建設事業債

 一般財源
 75
 △139,813

 合計
 119,075
 △5,637,813

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	0	△47, 400	
役務費	0	△5, 218	
委託料	0	△40, 049	
工事請負費	119, 075	△5, 458, 310	庁舎建設工事費
備品購入費	0	△86, 836	

単位事業名	高齢者講習施設整備のための経費(3か年継続事業第3年次)	予算額	119,075千円
			 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	119, 075	△5, 637, 813	

前年額

828, 737

11, 241

332,000

課室名: 会計課担当名: 予算係

485, 496

内線: 2235 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 Ħ 説明事業 款 一般会 警察費 警察管 警察施設費 越谷警察署庁舎建設費(継続事業第3年次支出額) 越谷警察署庁舎建設費(4か年継続事業第3年次) P11 理費 県民の暮らしの安心確保 令和 4年度~ 根 拠 警察法 SDGsz -N 16 針路 02 期間 令和 7年度 法 令 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターゲット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 狭あい化が著しい越谷警察署庁舎を現在地に建て替え (1) 事業内容 ることで、管内の厳しい治安情勢に対応するための警察 ア 継続費分 庁舎建設費(4か年継続事業第3年次) 1,856,527千円 力を発揮するとともに、県民の利便性の向上を図る。 イ 建設概要 (7) 所在地:越谷市東越谷6丁目67番地6(現在地改築) 継続費分 1,856,527千円 (イ) 敷地面積:8,094.2㎡(拡幅地1,515㎡を含む。) (ウ) 庁舎規模:鉄筋コンクリート造4階 8.050.24m<sup>2</sup> ウ 仮設庁舎概要 (7) 所在地: 越谷市東越谷7丁目11番地6 (イ) 敷地面積:約6,064.69m<sup>2</sup> (駐車場含む) (ウ) 借上建物:軽量プレハブ造2階 2,912.6㎡ エ 建設コンセプト (ア) 災害に強い庁舎:最高度の耐震性(構造耐震指標0.9相当)を確保、給油施設・非常用発動発電機の設置 (イ) 長寿命化による低コスト庁舎:目標耐用年数100年を想定した設計 (ウ) 環境、省エネに配慮した庁舎:太陽光発電設備、雨水利用システムの設置 2 事業主体及び負担区分 (国1/2、県1/2) (2) 事業計画 総事業費 7,630,215千円 ア 令和2年度 公有財産購入費 155,308千円 イ 令和2~3年度 調查設計費 298,924千円 3 地方財政措置の状況 ウ 令和3~7年度 仮設庁舎等借上 903,098千円 なし 工 令和5~7年度 庁舎建設(旧庁舎解体含む) 6,272,885千円 (3) 事業効果 著しい狭あい化の解消により管内の治安改善のための警察力を強化すると共に、県民サービスの向上を実現する。 【活動指標(アウトプット)】敷地面積の拡大、改築 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 【成果指標(アウトカム)】狭あいの解消、施設機能の強化 9,500千円×1,7名=16,150千円 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 国庫支出金 県 債 対比 決定額 1, 261, 000 1,027,790 1,856,527 279, 135 316, 392

事業名	越谷警察署庁舎建設費(4か年継続事業第3年次)		
単位事業名	継続費分	予算額	1, 856, 527千円

**○歳入** (単位:千円)

<u> </u>			(単位:十口/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	279, 135	267, 894	警察施設費補助金 補助率 5/10
県債・ 警察債	1, 261, 000	929, 000	警察署庁舎建設事業債
一般財源	316, 392	△169, 104	
合計	1, 856, 527	1, 027, 790	

〇歳出 (単位:千円)

			\ <del></del>
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	211	△172	事務費
役務費	0	△47, 801	
委託料	21, 495	14, 974	工事に係る監理委託料
使用料及び賃借料	312, 786	△119, 936	仮設庁舎、用地等借上料

単位事業名	継続費分	予算額	1, 856, 527千円
			_

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	1, 518, 856	1, 178, 786	庁舎建設工事費
負担金、補助及び交付金	3, 179	1, 939	電波障害負担金
合計	1, 856, 527	1, 027, 790	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

(単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 Ħ 説明事業 一般会 警察費 警察管 警察施設費 (仮称) 川口北警察署庁舎建設費(継続事業第1年次支出 (仮称) 川口北警察署庁舎建設費(3か年継続事業第1年次) P12 理費 県民の暮らしの安心確保 令和 6年度~ 根 拠 警察法 SDGsz -N 16 針路 02 令和 8年度 法 令 期間 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 川口市内の治安状況等に的確に対応するため、同市北 (1) 事業内容 東部地域に警察署を新設する。 ア事業 (ア) 継続費分 172,042千円 (イ) 用地購入費 1,216,568千円 継続費分 172,042千円 イ 用地購入費 イ 建設概要 1,216,568千円 (7) 所 在 地:都市計画事業石神西立野特定十地区画整理事業70街区等 (イ) 敷地面積:6,673m<sup>2</sup> (保留地含む) (ウ) 庁舎規模:鉄筋コンクリート造4階 約5.000m<sup>2</sup> ウ 建設コンセプト (ア) 災害に強い庁舎:最高度の耐震性(構造耐震指標0.9相当)を確保、非常用発動発電機の設置 (4) 長寿命化による低コスト庁舎:目標耐用年数100年を想定した設計 (ウ) 環境、省エネに配慮した庁舎:太陽光発電設備、雨水利用システムの設置 (2) 事業計画 2 事業主体及び負担区分 総事業費 6,177,935千円 (国1/2、県1/2) ア 令和4~5年度 調査設計費 257, 292千円 イ 令和5~6年度 公有財産購入費(用地特会買戻し、保留地購入)1,285,232千円 ウ 令和6~8年度 庁舎建設 4,635,411千円 3 地方財政措置の状況 (3) 事業効果 川口市内に第三の警察署を新設することにより、市内の治安と住民の利便性の向上を実現する。 なし 【活動指標(アウトプット)】建設工事 【成果指標(アウトカム)】川口市を3署体制で管轄、警察活動の効率化 (4) その他 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 川口市内の警察署の概要 9,500千円×1,7名=16,150千円 川口警察署:110番受理件数 県下第1位、職員数は建設当時の約1.2倍 狭あいな庁舎 武南警察署:110番受理件数 県下第9位、職員数は建設当時の約1.6倍 狭あいな庁舎 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 国庫支出金 県 債 対比 決定額 30,067 1, 349, 000 9,543 1, 388, 610 1, 141, 802 前年額 246,808 246,000 808

事業名	(仮称) 川口北警察署庁舎建設費 (3か年継続事業第1年次)		
単位事業名	継続費分	予算額	172, 042千円

〇歳入 (単位:千円)

<u> </u>			(単位:十口/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察管理費補助金	30, 067	30, 067	警察施設費補助金 補助率 5/10
県債・ 警察債	133, 000	133, 000	警察署庁舎建設事業債
一般財源	8, 975	8, 975	
合計	172, 042	172, 042	

〇歳出 (単位:千円)

<u> </u>			(十四:111/
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	641	641	事務費
委託料	5, 726	5, 726	庁舎建設に係る家屋調査委託料等
工事請負費	160, 229	160, 229	庁舎建設工事費
負担金、補助及び交付金	5, 446	5, 446	電波障害負担金等

単位事業名	継続費分			予算額	172,042千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
合計	172, 042	172, 042			
単位事業名	用地購入費			予算額	1, 216, 568千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	1, 216, 000	1, 216, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	568	568			
合計	1, 216, 568	1, 216, 568			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	350	350	事務費		
役務費	3, 165	3, 165	不動産鑑定料		

単位事業名	用地購入費	予算額	1, 216, 568千円

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	14, 790	14, 790	補償委託料
公有財産購入費	1, 198, 263	1, 198, 263	用地購入費
合計	1, 216, 568	1, 216, 568	

課室名: 会計課 担当名: 予算係

247,816千円

内線: 2235 (単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業

一般会 警察費 警察管 警察施設費 草加警察署設備改修費(継続事業第1年次支出額) 草加警察署冷暖房設備改修費(2か年継続事業第1年次) P19 理費 県民の暮らしの安心確保 令和 6年度~ 根 拠 警察法 SDGsz -N 16 針路 令和 7年度 法 令 期間 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ゛ット 16-6

### 1 事業概要

近年は夏の気温が著しく上昇しており、冷房の不具合 (1) 事業内容 は、来庁者や職員の体調悪化に直結するものであるが、 警察署等の冷暖房設備は、耐用年数を超過して使用して おり、劣化により種々の故障が発生している。

草加警察署冷暖房設備について、令和6年度から2か (2) 事業計画 年で改修する。

### 草加警察署冷暖房設備改修費

(2か年継続事業第1年次)

247,816千円

2 事業主体及び負担区分

(県10/10)

- 3 地方財政措置の状況
- (1) 地方債の充当率 90%
- (2) 地付税措置 元利償還金について、その33.3% を基礎財政需要額に算入
- 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1,7名=16,150千円

### 5 事業説明

草加警察署冷暖房設備改修費(2か年継続事業第1年次) 冷暖房設備更新 草加警察署 (第1年次) (27年経過)

令和7年度

草加警察署冷暖房設備改修費(2か年継続事業第2年次)

(3) 事業効果

警察署に来署された県民へのサービス、警察署等勤務員の執務環境及び被留置者に対する処遇維持、並びに 各種設備の効率的運転を図ることができる。また、省エネ機器へ更新することにより、光熱水費の削減及び環 境負荷の低減が可能となる。

【活動指標(アウトプット)】冷暖房設備改修

【成果指標(アウトカム)】省エネ機器への更新による光熱水費の削減

			<u></u>	財 源	内 訳			治年しの
	予算額	県 債					一般財源	前年との 対比
決定額	247, 816	247, 000					816	247, 816
前年額	0						0	

事業名	草加警察署冷暖房設備改修費(2か年継続事業第1年次)		
単位事業名	草加警察署冷暖房設備改修費(2か年継続事業第1年次)	予算額	247, 816千円

 ○歳入
 (単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 247,000
 警察署庁舎建設事業債

 一般財源
 816
 816

 合計
 247,816
 247,816

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	32	32	事務費
工事請負費	247, 784	247, 784	冷暖房設備改修工事費
合計	247, 816	247, 816	

課室名:会計課 担当名:予算係 内線:2235

内線: 2235 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	目		説明事業	
P13	ファシリティマネジ <i>;</i> 備)	メント推進事業(運転免	許センター施設整	一般会 計	警察費	警察管 理費	警察施設費	運転免許センター施設改	修費(継続事業第3	年次支出額)
事業期間	令和 4年度~ 根 拠 令和 6年度 法 令	警察法			分	針路 )野施策		暮らしの安心確保 策の推進と捜査活動の強	SDGsゴール 化 SDGsターゲット	
1 事	業概要		5 事業説明				1		<del></del>	
ことで		予防保全改修等を実施する 進し、建築コストの縮減と	(1) 事業内容 運転免許セン	ター施設	と 整備事業	<b>養費(3</b> )	か年継続事業第	3年次) 107,126千円		
運転		ት化のための改修事業を令 る。		令和6年	度 屋」	上防水・タ	外壁改修、消防	設備改修、エレベーターi	改修、舗装改修	
	免許センター施設整備総 3か年継続事業第3年別		建築コストの縮 【活動指標(7	減と整備 アウトプ	青費用の≦ ット)】  ■	F準化が第 主車場舗	実現できる。	図られ、施設整備計画を 修繕等の抑制	見直すことが可能とタ	<b>まり、</b>
2 事 (県10/	業主体及び負担区分 10)									
3 地 なし	方財政措置の状況									
	業費に係る人件費、組縦 - 円×1.7名=16,150千円	戦の新設、改廃及び増員 日								
			財	源	内	訳				治年しの
	予算額	県 債							一般財源	前年との 対比
決定	•	107, 000							126	△284, 440
前年	額 391,566	391,000							566	

事業名	ファシリティマネジメント推進事業(運転免許センター施設整備)		
単位事業名	運転免許センター施設整備経費(3か年継続事業第3年次)	予算額	107, 126千円

 ○歳入
 単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 107,000
 △284,000
 警察署庁舎建設事業債

 一般財源
 126
 △440

 合計
 107,126
 △284,440

〇歳出

<u> </u>			
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	55	55	事務費
工事請負費	107, 071	△284, 495	施設改修工事費
合計	107, 126	△284, 440	

課室名:会計課担当名:予算係

 事業
 令和6年度
 根拠警察法
 針路
 02
 県民の暮らしの安心確保
 SDGsコ゚ール 16

 期間
 法令
 分野施策 0201
 防犯対策の推進と捜査活動の強化
 SDGsプール 16

### 1 事業概要

交番・駐在所について、狭あい・老朽化が著しく、県 民サービスが十分に提供できていないことや、地域の実 情により移転を余儀なくされる等種々の問題を抱えてい る施設の計画的な改築を実施する。

令和5年度~令和6年度、交番3か所及び駐在所2か 所を2か年事業により改築する。

ア 初度調弁費イ 土地借上料

9, 153千円 80千円

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1,7名=16,150千円 5 事業説明

(1) 事業内容

令和5年度~令和6年度、交番3か所、駐在所2か所を2か年事業で改築する。

ア 初度調弁費 交番・駐在所改築に伴う消耗品及び備品の購入 9,153千円(令和5年度~令和6年度改築施設) イ 土地借上料 土地の借上料 80千円( "

(2) 事業計画

ア 著しい狭あいによる改築(1か所)

交番 1か所 大宮西署:上小交番

著しい老朽化による改築(4か所)

交番 2か所 武南署:江戸袋交番、西入間署:越生交番

駐在所 2か所 東松山署:吉見東駐在所、小川署:大河原駐在所

イ 建設費は警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業を利用(債務負担行為設定)

(3) 事業効果

「地域の生活安全ステーション」としての役割を強化し、地域住民の要望に応える警察活動を推進する。

【活動指標(アウトプット)】交番、駐在所の改築5か所

【成果指標(アウトカム)】交番、駐在所の狭あい化の解消、女性職員用トイレ・仮眠室の整備

		財源	内 訳		前年しの
	予算額			一般財源	前年との 対比
					NIL
決定額	9, 233			9, 233	△83
前年額	9, 316			9, 316	

事業名	交番、駐在所建設	  費(2か年事業	・第2年次経費)		
単位事業名	初度調弁費			予算額	9, 153千円
〇歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	9, 153	△75			
合計	9, 153	△75			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	3, 466	△245	  交番、駐在所用物品購入費月 	用 	
備品購入費	5, 687	170	交番、駐在所用物品購入費用	用	
合計	9, 153	△75			
単位事業名	土地借上料			予算額	80千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	80	△8			
合計	80	Δ8			

単位事業名	土地借上料			予算額	80千円
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	80	△8	交番、駐在所改築に係る土地信	昔上料	
合計	80	Δ8			

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1,7名=16,150千円

課室名:会計課担当名:予算係

一般会 警察費 警察管 警察施設費 交番、駐在所建設費 交番、駐在所建設費(2か年事業・第1年次経費) N49 理費 県民の暮らしの安心確保 事業 | 令和 6年度~ | 根 拠 | 警察法 SDGsz -N 16 針路 期間 令和30年度 法 令 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ゛ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 交番・駐在所について、狭あい・老朽化が著しく、県 |(1) 事業内容 民サービスが十分に提供できていないことや、地域の実 交番7か所、駐在所3か所の改築を実施する。 情により移転を余儀なくされる等種々の問題を抱えてい ア 警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業の据置利息分 366千円 る施設の計画的な改築を実施する。 令和6年度~令和7年度は、交番7か所及び駐在所3 (2) 事業計画 か所を2か年事業により改築する。 ア 都市整備計画等に伴う移転改築 2か所 浦和署:浦和駅前交番、川越署:南古谷駅前交番 不動産投資償還金 著しい老朽化による改築(8か所) (2か年事業・初年度据置利息) 5か所 大宮西署:指扇駅前交番、武南署:鳩ヶ谷交番、草加署:八潮北交番 366壬円 東入間署:大井交番、越谷署:せんげん台駅前交番 駐在所 3か所 杉戸署:田宮駐在所、飯能署:東吾野駐在所、加須署:東駐在所 イ 建設費は警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業を利用(債務負担行為設定) ·期間 令和7年度~令和30年度(24年償還、元利均等·半年賦) • 利率 年1.700% 2 事業主体及び負担区分 ウ 今後の整備方針 (県10/10) (ア) 著しい老朽施設(耐用年数+5年以上経過)について、今後増加の一途をたどることから、計画的に改築 整備を進める。 (イ) 狭あいの著しい施設(基準面積×70%以下)では、県民のニーズが高い女性警察官の配置が設備的条件 で障害となっていることから、この障害解消を優先して計画的に改築整備を進める。 3 地方財政措置の状況 なし (3) 事業効果 「地域の生活安全ステーション」としての役割を強化し、地域住民の要望に応える警察活動を推進する。

		ļ.		前年との		
	予算額				一般財源	対比
決定額	366				366	197
前年額	169				169	

事業名	交番、駐在所建設費 (2か年事業・第1年次経費)		
単位事業名	不動産投資償還金(令和6~7年度改築分·初年度据置利息)	予算額	366千円

_〇歳入			(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	366	197	
合計	366	197	

_〇歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	366	197	警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業の据置利息分
合計	366	197	

課室名:会計課 担当名:予算係 内線:2235

**勺線: 2235** (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	目		説明事業	
P18	大規模災害対策の推済			一般会 計	警察費	理費		警察施設整備費		
事業問	法 令	警察法、建築基準法				針路 )野施策		危機に強い埼玉の構築 理・防災体制の再構築	SDGsコ゛ール 1 SDGsターケ゛ット 1	
高くな 大規 び災害 応える。 ア	本大震災を機に県民の っている。 関災害時に防災拠点とな に強い体制の整備を継続	方災意識はこれまで以上に よる警察施設の機能強化及 売的に進め、県民の期待に の更新等 86,611千円 209,824千円	小川 <sup>4</sup> イ 警察施設の (ア) 警察施設(	用発動発 電機の蓄 終察署署 と で で で で で で で で で で で き が で え で え い で え い た う に う に う に う た う に う に う に う に う に う	電機の 電池交換 山警察署 西入間警 で 209,8 で (備等に係	更新(蕨警 異、久喜等 子祭署、 <sup>5</sup> 24千円 系る浸水 <sup>5</sup>	等察署(350KVA)) 警察署、熊谷警: 杉戸警察署、交: 対策	察署、所沢警察署、本庄 <sup>‡</sup> 通機動隊、宮原分庁舎) 署、川越警察署)	警察署、機動センター	
(県10/	業主体及び負担区分 10) 方財政措置の状況 地方債の充当率 100%		イ 警察施設の済 (ア) 令和6年	<b>要</b> 度变变变变变变	察署(35 (35) (35) (35) (35) (35) (35) (35) (	0KVA) 350KVA) 150KVA)、 【200KVA 150KVA)、 杉戸警察 【表现的	A)、上尾分庁舎 飯能警察署(20 察署、蕨警察署	(50KVA) 00KVA)、航空隊(15KVA) 、本庄警察署、川越警察 <sup>3</sup> 察署、草加警察署	署	
(2) 交付税措置 元利償還金について、その70%を 基準財政需要額に算入 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 2 500チロ×1 7名=16 150チロ 【活動指				自然災害 発動発電 ウトプ	等により 機等を ット)】 ラ	)商用電 整備し、 養発の更	力等の供給がさ 浸水対策を講じ 新1か所、蓄電	れない場合、復旧までのほることで、防災拠点の機に ることで、防災拠点の機に 池の交換12か所、浸水対策 電力確保(72時間)、浸水に	能維持を可能とする。 策の実施 5 か所	
			財	源	内	訳				治年しの
	予算額	県 債							一般財源	前年との 対比
決定	* *	285, 000							11, 435	82, 011
前年	額 214,424	208, 000							6, 424	·

事業名	大規模災害対策の推進		
単位事業名	大型非常用発動発電機の更新等	予算額	86, 611千円

 ○歳入
 単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 76,000
 26,000
 警察署庁舎建設事業債

 一般財源
 10,611
 5,174

 合計
 86,611
 31,174

 〇歳出
 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	10, 591	5, 520	設備部品費用等
委託料	2, 053	200	設備改修に係る設計委託料
工事請負費	73, 967	25, 454	設備改修工事費
合計	86, 611	31, 174	

単位事業名	警察施設の浸水丸	策	予算額	209, 824千円	
_○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	209, 000	51, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	824	△163			
合計	209, 824	50, 837			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	150	30	事務費
委託料	14, 772	4, 773	浸水対策施工に係る設計委託料
工事請負費	194, 902	46, 034	浸水対策工事費
合計	209, 824	50, 837	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

(単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業 ファシリティマネジメント推進事業(警察施設整備) 一般会 警察費 警察管 警察施設費 警察施設整備費 P14 理費 平成28年度~ 根 拠 警察法 県民の暮らしの安心確保 針路 SDGs¬¬N 16 期間 法 令 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6

1 事業概要

警察公舎を計画的に廃止し、施設の維持管理費用の縮 (1) 事業内容 減を図る。

警察公舎整備計画(公舎廃止)

192,901千円

5 事業説明

警察公舎の順次廃止を実施する。

ア 警察公舎整備計画(公舎廃止) 警察公舎の廃止経費 192,901千円

(2) 事業計画

警察公舎整備計画 (公舎廃止)

ア 令和6年度 18棟廃止

イ 令和7年度 17棟廃止

ウ 令和8年度 17棟廃止

エ 令和9年度 19棟廃止

(3) 事業効果

計画的に警察公舎を廃止することにより、トータルコストの縮減を図る。

【活動指標(アウトプット)】警察公舎の順次廃止

【成果指標(アウトカム)】改修等の維持管理費用の縮減

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況 なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1.7名=16,150千円

			ļ	財 源	内 訳			前年しの
	予算額	県 債					一般財源	前年との 対比
決定額	192, 901						192, 901	△751, 304
前年額	944, 205	890, 000					54, 205	

事業名	ファシリティマネジメント推進事業(警察施設整備)		
単位事業名	警察公舎整備計画 (公舎廃止)	予算額	192, 901千円

 ○歳入

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 192,901
 186,632

 合計
 192,901
 186,632

 〇歳出
 (単位:千円)

			\ <del></del>
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	122, 509	120, 260	警察公舎閉鎖費用
役務費	30, 010	29, 046	警察公舍閉鎖費用
委託料	40, 382	37, 326	警察公舎閉鎖に係る測量費
合計	192, 901	186, 632	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

内線: 2235 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	E E		説明事業	
P20	警察署等冷暖房設備改	女修費		一般会	警察費		警察施設費	警察施設維持管理費		
F20				計		理費				
事 業		警察法				針路		)暮らしの安心確保	SDGsコ゛ール	16
期間	法 令					分野施策	0201   防犯対	†策の推進と捜査活動の強	化 SDGsターケ゛ッ	ŀ 16-6
1 事	業概要		5 事業説明							
		しており、冷房の不具合	(1) 事業内容							
	庁者や職員の体調悪化に		冷暖房設備改	修				447,640千円		
		年数を超過して使用して	アー冷暖房設備	更新 東	<b>『松山警</b>	察署、本	庄警察署			
	劣化により種々の故障が		イ 冷暖房設備	オーバー	ーホール	(東入間警	\$察署、武南警	察署)		
		応も経年により困難とな								
ってき	ていることから、計画的	」な予防保全を推進する。	(2) 事業計画							
	→-n ///-/ // .		令和7年度以							
冷暖	房設備改修	447,640千円	個別計画に	基づく整	<b>圣備</b>					
			(0) 本米七田							
			(3) 事業効果	العامل على	1 B . A.	1L 100	#4 公 55 55 75 75 75	日本教授 英亚亚洲 100 円	大ファムレーフ とり こ田 かんと	÷ +4 7 10
								員の執務環境及び被留置		
								エネ機器へ更新すること 機器について予防保全を		
			高額修繕を抑制				. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	機品について予防体生化	天旭 タ ることで、チ	:光印な
2 事	業主体及び負担区分							バーホール2か所		
(県10/								光熱水費の削減		
	•		[hX\/\]=\\\\(\)	7 1 74		-11/1/2/100	107 X/M/1C & 3	プロスパクル 質 *2 日が火		
3 排	方財政措置の状況									
	地方債の充当率 90%、	75%								
	地付税措置 元利償還金									
	基礎財政需要額に算入									
4 事	三業費に係る人件費、組織	の新設、改廃及び増員	_							
	千円×1.7名=16,150千円									
,	1,	•								
			財	源	内	訳				
	予算額	<b></b>							一般財源	前年との
		県 債								対比
決定	[額 447,640	447, 000							640	△10, 203
前年	額 457,843	457,000							843	

事業名	警察署等冷暖房設備改修費		
単位事業名	冷暖房設備改修	予算額	447, 640千円

 ○歳入
 単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 447,000
 Management
 Management
 全理

 一般財源
 640
 公203

〇歳出

△10, 203

447, 640

合計

<u> </u>			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	64	Δ2	事務費
委託料	10, 882	△5, 659	冷暖房設備改修等に係る設計委託料
工事請負費	436, 694	△4, 542	冷暖房設備改修等工事費
合計	447, 640	△10, 203	

課室名:会計課担当名:予算係

番号 一般会 警察費 警察管 警察施設費 警察施設維持管理費 ファシリティマネジメント推進事業(警察施設改修) P15 理費 根 拠 警察法 県民の暮らしの安心確保 SDGsz -N 16 平成28年度~ 針路 法 令 期間 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ゛ット 16-6 1 事業概要 事業説明 既存施設に対する計画的な予防保全改修等を実施する (1) 事業内容 ことで、施設の長寿命化を推進し、建築コストの縮減と ア 警察署等の予防保全改修 375,750千円 整備費用の平準化を図る。 警察署長公舎の整備 8,977千円 警察署等のトイレ改修 81,002千円 ア 警察署等の予防保全改修 エ 警察施設のエレベーター改修 375,750千円 90.696千円 イ 警察署長公舎の整備 オ 警察力基盤強化に伴う庁舎改修 8.977千円 862,663千円 ウ 警察署等のトイレ改修 81,002千円 カ 運転免許センター施設整備経費 307,210千円 エ 警察施設のエレベーター改修 90.696千円 キ 射撃場の保守点検 23.360千円 オ 警察力基盤強化に伴う庁舎改修 862,663千円 カ 運転免許センター施設整備経費 (2) 事業計画 307,210千円 キ 射撃場の保守点検 23.360千円 ア 警察署等の予防保全改修 令和6年度 大宮西警察署、新座警察署、児玉警察署、浦和警察署 秩父警察署、装備技術センター、上尾分庁舎、警察学校厚生館 警察署長公舎の整備(民間借上げ) 2 事業主体及び負担区分 令和6年度 大宮警察署、飯能警察署、春日部警察署 (県10/10) ウ 警察署等のトイレ改修】 令和6年度 熊谷警察署、吉川警察署、上尾分庁舎 エ 警察施設のエレベーター改修 令和6年度 川口警察署 3 地方財政措置の状況 オ 警察力基盤強化に伴う庁舎改修 令和6年度 行田警察署、飯能警察署、杉戸警察署 (1) 地方債の充当率 75%・90% カ 運転免許センター施設整備経費 (2) 交付税措置 元利償還金について、その33.3% 令和6年度 庁舎自動ドア工事、外構工事 を基準財政需要額に算入 (脱炭素化推進債) (3) 事業効果 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 計画的な施設改修を実施することにより、長寿命化が図られ、施設整備計画を見直すことが可能となり、 9,500千円×1,7名=16,150千円 建築コストの縮減と整備費用の平準化が実現できる。 【活動指標(アウトプット)】計画に基づく改修 【成果指標(アウトカム)】計画改修により突発的な修繕等の抑制 酒 内

予算額		χ1 1/γ/ L1 th/						前年レの
		県 債					一般財源	前年との 対比
決定額	1, 749, 658	1, 716, 000					33, 658	715, 190
前年額	1, 034, 468	1, 022, 000					12, 468	

事業名	ファシリティマネジメント推進事業(警察施設改修)		
単位事業名	警察署等の予防保全改修	予算額	375, 750千円

 ○歳入
 単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 県債・警察債
 376,000
 79,000
 警察署庁舎建設事業債

 一般財源
 △250
 624

 合計
 375,750
 79,624

〇歳出

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	132	53	事務費
委託料	6, 284	△8, 446	施設改修に係る設計委託料
工事請負費	369, 334	88, 017	施設改修工事費
合計	375, 750	79, 624	

単位事業名	警察署長公舎の塾		予算額	8,977千円		
○歳入					(単位:千円)	
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
一般財源	8, 977	1, 382				
合計	8, 977	1, 382				
〇歳出         (単位:千円)						

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1, 407	1, 367	事務費
役務費	682	555	署長公舎借上手数料
委託料	1, 528	△670	署長公舎閉鎖に係る測量費
使用料及び賃借料	5, 360	5, 360	署長公舎借上料
工事請負費	0	△5, 230	
合計	8, 977	1, 382	

単位事業名	警察署等のトイレ改修			予算額	81,002千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	81, 000	41, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	2	△808			
合計	81, 002	40, 192			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	51	18	事務費
委託料	2, 689	817	トイレ改修に係る設計委託料
工事請負費	78, 262	39, 357	トイレ改修工事費
合計	81, 002	40, 192	

単位事業名	警察施設のエレベ	・一ター改修	予算額	90,696千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	90, 000	△7, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	696	1, 193			
合計	90, 696	△5, 807			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	32	0	事務費
委託料	5, 356	2, 948	エレベーター改修に係る設計委託料
工事請負費	85, 308	△8, 755	エレベーター改修工事費
合計	90, 696	△5, 807	

単位事業名	警察力基盤強化に伴う庁舎改修			予算額	862, 663千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	862, 000	285, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	663	120			
合計	862, 663	285, 120			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	210	0	事務費
委託料	41, 025	△2, 055	警察署庁舎改修に係る設計委託料
工事請負費	821, 428	287, 175	警察署庁舎改修工事費
合計	862, 663	285, 120	

単位事業名	運転免許センター	<b>軍転免許センター施設整備経費</b>			307, 210千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	307, 000	301, 000	警察署庁舎建設事業債		
一般財源	210	△254			
合計	307, 210	300, 746			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	139	139	事務費
委託料	11, 492	5, 028	施設改修に係る設計委託料
工事請負費	295, 579	295, 579	施設改修工事費
合計	307, 210	300, 746	

単位事業名	射撃場の保守点検	†撃場の保守点検			23,360千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	23, 360	13, 933			
合計	23, 360	13, 933			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	8, 755	8, 755	  射撃場設備点検物品購入費 		
委託料	14, 605	5, 178	射擊訓練装置保守費用等		
合計	23, 360	13, 933			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2235

(単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 Ħ 説明事業 一般会 警察費 警察管 運転免許費 運転免許試験費 運転免許試験関係経費 N61 理費 県民の暮らしの安心確保 昭和29年度~ 根 拠 道路交通法 SDGsz"-N 3 針路 期間 法 令 分野施策 | 0202 交通安全対策の推進 SDGsターケ゛ット 3-6 1 事業概要 事業説明

運転免許証の作成交付、指定教習所の指導監督、講習 及び試験に関する業務を適正かつ円滑に実施する。

運転免許証交付関係経費

1,359,700千円

イ 運転免許講習関係経費

1,828,769千円

認知機能検査におけるタブレット端末の導入

57,573千円

工 運転免許試験関係経費

72,491千円

オ 岩槻高齢者講習センター開設経費

146,697千円

### 事業主体及び負担区分

ア、イ、ウ (県10/10)

エ、オ (国1/2、県1/2)、(県10/10)

### 3 地方財政措置の状況

### 普通交付税(単位費用)

(区分)警察費(細目)警察管理費(細節)運転免許費 (積算内容)免許証資材費等、運転者講習委託料等 免許証更新通知事務委託料 等

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×16人=152,000千円

#### (1) 事業内容

ア 運転免許証交付関係経費

1,359,700千円

講師謝金、消耗品費等、更新通知郵送料等、免許業務関係委託料、システム賃借料、備品購入費及び負担金 1,828,769千円

イ 運転免許講習関係経費

講習謝金、消耗品、印刷製本費、修繕費、検査及び講習通知郵送料及び講習委託料

ウ 認知機能検査におけるタブレット端末の導入

タブレット式認知機能検査システムにかかる消耗品、機器賃借料

工 運転免許試験関係経費

57,573千円 72,491千円

講師謝金、消耗品費等、機材点検手数料等、試験事務委託料、試験機材賃借料、備品購入費及び車両重量税

オ 岩槻高齢者講習センター開設経費

146,697千円

免許事務用機器賃借料、講習車両に係る保険料等

### (2) 事業計画

ア 運転免許証交付件数 1,220,494人

イ 運転免許講習数 更新時識習 取得時講習 900.966人 545人 仮免許受験者 高齢者講習 222,755人 79,500人

> 臨時高齢者講習 63人

ウ 運転免許試験件数 普通一種 102,000人 大型・中型・普通二種 3,300人 大型・中型・準中型一種 17,100人 特定一・二種 23,700人

> 小型 • 原付 仮免許 16,700人 6,600人

### (3) 事業効果

ア 運転免許証の交付事務及び指定自動車教習所への指導監督を行うことにより、運転者の適正な管理を図る。

イ 法令に基づいた、適正かつ公正な運転免許試験及び運転者講習を実施することにより、高い安全運転意識の 醸成及び道路交通の安全を図る。

				財 源	内 訳			前年との
	予算額	国庫支出金	使用料・手数料	県 債			一般財源	対比
決定額	3, 465, 230	2, 676	5, 957, 812	3, 000			△2, 498, 258	326, 220
前年額	3, 139, 010	2, 644	5, 636, 576				△2, 500, 210	

事業名	運転免許試験関係経費		
単位事業名	運転免許証交付関係経費	予算額	1, 359, 700千円

〇歳入 (単位:千円)

			(十四: 111)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 警察手数料	3, 289, 050	400, 105	自動車運転免許手数料
一般財源	△1, 929, 350	△314, 066	
合計	1, 359, 700	86, 039	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	785, 143	41, 349	免許証作成用消耗品等
役務費	61, 881	4, 590	更新案内はがき郵送料等
委託料	165, 050	54, 561	運転免許関係業務委託等
使用料及び賃借料	342, 668	△15, 287	免許作成機器借上料等
備品購入費	4, 928	876	運転免許関係備品購入費

単位事業名	運転免許証交付関係経費	予算額	1, 359, 700千円

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	30	0	鴻巣市防火管理協会負担金
償還金、利子及び割引料	0	△50	
合計	1, 359, 700	86, 039	

単位事業名	運転免許講習関係経費	予算額	1, 828, 769千円
-------	------------	-----	---------------

〇歳入 (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 警察手数料	2, 299, 092	142, 730	自動車運転免許手数料

単位事業名 運転免許講習関係経費 予算額 1,828,769千円
----------------------------------

(単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△470, 323	△1, 497	
合計	1, 828, 769	141, 233	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	52	24	更新時講習講師謝金
需用費	15, 325	997	講習実施経費等
役務費	43, 828	4, 961	講習通知郵送料等
委託料	1, 760, 138	138, 776	更新時講習委託等
使用料及び賃借料	9, 139	△3, 666	高齢者講習予約システム機器賃借料等
備品購入費	106	106	高齢者講習関係機器
負担金、補助及び交付金	146	0	高齡者講習指導員資格取得講習

単位事業名	運転免許講習関係経費			予算額	1, 828, 769千円	
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
公課費	35	35	検査関係車両重量税			
合計	1, 828, 769	141, 233				
単位事業名	認知機能検査にお	3けるタブレット	端末の導入	予算額	57, 573千円	
○歳入					(単位:千円)	
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
一般財源	57, 573	△144				
合計	57, 573	△144				
○歳出					 (単位:千円)	
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容		
需用費	725	△144	  トナーカートリッジ等 			
使用料及び賃借料	56, 848	0	タブレット式認知機能検査シス	ステム賃借料		
合計	57, 573	△144				

т

.

単位事業名	運転免許試験関係経費			予算額	72, 491千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び手数料・ 警察手数料	369, 670	△221, 599	自動車運転免許手数料		
国庫支出金· 警察管理費補助金	2, 399	△245	警察本部費補助金 補助率 5/10		
県債・ 警察債	3, 000	3, 000	警察署等低公害車整備事業債		
一般財源	△302, 578	175, 788			
合計	72, 491	△43, 056			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
報償費	24	0	運転適性検査指導者養成講師記	射金	
需用費	12, 836	△433	免許試験関係消耗品等		
役務費	14, 733	75	臨時適正検査手数料等		

単位事業名 運転免許試験関係経費	予算額	72, 491千円
------------------	-----	-----------

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	258	△44, 093	試験用機器保守委託
使用料及び賃借料	39, 566	△1,779	試験用車両借上料等
備品購入費	3, 447	2, 901	検査機器購入費
負担金、補助及び交付金	358	200	資格取得講習等負担金
公課費	1, 269	73	試験車両重量税
合計	72, 491	△43, 056	

単位事業名	岩槻高齢者講習セ	ソンター開設経費	予算額	146, 697千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庫支出金· 警察管理費補助金	277		警察本部費補助金 補助率 5/10		

+	V 1			<u> </u>	
					(単位:千円)
単位事業名	岩槻高齢者講習セ	ソンター開設経費	予算額	146, 697千円	

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	146, 420	141, 871	
合計	146, 697	142, 148	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	9, 989	9, 989	講習実施経費等
役務費	6, 726	5, 441	講習用車両保険料等
委託料	74, 504	74, 504	運転免許関係業務委託等
使用料及び賃借料	55, 189	52, 368	免許作成機器借上料等
負担金、補助及び交付金	289	289	資格取得講習等負担金
公課費	0	△443	
合計	146, 697	142, 148	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2236

(単位:千円)

番号 事業名 会計 款 項 説明事業 目 一般会 警察費 警察活 警察活動費 初動警察活動強化のための車載カメラ整備及び運用 一般活動費 P6 動費 県民の暮らしの安心確保 令和 5年度~ 根 拠 警察法 SDGs¬¬N 16 針路 令和11年度 法令 期間 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 県民からの事件・事故等の110番通報に対し、いち早 (1) 事業内容 く現場状況の把握と情報共有を行い、現場状況に応じた 無線自動車動熊管理(カーロケータ)システムに可搬式タブレット型車載装置と車載カメラを整備する。 迅速・的確な初動警察活動を実施し、被害の拡大防止及 び犯人の早期検挙により県民の安全・安心を確保する。 ア 車載カメラ関係経費 車載カメラ付き車載装置に係る回線使用料 8,475千円 イ 車載カメラ関係機器整備 車載カメラ付き車載装置に係る機器借上料 212,221千円 ア 車載カメラ関係経費 8.475千円 イ 車載カメラ関係機器整備 212,221千円 (2) 事業計画 令和5年度回線及びリース契約の締結 運用開始 : 令和6年5月1日 リース満了: 令和11年4月30日 (3) 事業効果 2 事業主体及び負担区分 110番通報に対する迅速・的確な初動警察活動が強化され、被害の拡大防止及び犯人の早期確保・犯罪の発生抑止 (県10/10) が可能となり、県民の安全・安心を確保することができる。

3 地方財政措置の状況 なし

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円

【活動指標(アウトプット)】事件・事故等の現場のライブ映像を本部通信指令室に伝送

【成果指標(アウトカム)】初動警察活動の強化

予算額		財 源 内 訳						前年しの	
							一般財源	前年との 対比	
								71,74	
決定額	220, 696						220, 696	208, 121	
前年額	12, 575						12, 575		

事業名	初動警察活動強化	のための車載力。					
単位事業名	車載カメラ関係紹	費	予算額	8, 475千円			
〇歳入					(単位:千円)_		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
一般財源	8, 475	△4, 100					
合計	8, 475	△4, 100					
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
役務費	8, 475	△4, 100	回線使用料				
合計	8, 475	△4, 100					
単位事業名	予算額	212, 221千円					
〇歳入					(単位:千円)_		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
一般財源	212, 221	212, 221					
合計	212, 221	212, 221					

単位事業名	車載カメラ関係機	<b>と器整備</b>	予算額	212, 221千円	
○歳出				(単位:千円)	
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	212, 221	212, 221	車載カメラ装置借上料		
合計	212, 221	212, 221			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2234

(単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業 ヘリコプター活動経費(警察活動費) 一般会 警察費 警察活 警察活動費 一般活動費 N58 動費 根拠警察法、航空法、警察用航空機の運用等に関する規則 災害・危機に強い埼玉の構築 SDGs¬ ¬N 3, 13, 16 昭和53年度~ 針路 期間 法 令 分野施策 0101 危機管理・防災体制の再構築 SDGsターゲット 3-6, 13-1, 16-1 1 事業の概要 5 事業説明 保有する警察へリコプターを運航するために必要な維 (1) 事業内容 持管理を適正に実施する。また、操縦士及び整備士の退 ア 養成訓練関係経費 職に伴い、航空隊の活動を維持するために、新隊員を早 整備士の養成訓練経費 65千円 期養成し、体制を補完する。 イ ヘリコプター整備関係経費 ヘリコプターの整備に伴う旅費 325千円 ア 養成訓練関係経費 65千円 ウ 資格取得訓練経費 イ ヘリコプター整備関係経費 325千円 専門訓練施設において、学科・整備訓練を受講させ必要な知識及び技能を習得 9,272千円 ウ 資格取得訓練経費 9,272千円 工 操縦士訓練関係経費 工 操縦士訓練関係経費 操縦士の訓練に関する経費 2,714千円 2,714千円 (2) 事業計画 ア 整備士の養成訓練経費 イ ヘリコプターの整備関係経費 ウ 操縦士及び整備士の育成 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (3) 事業効果 ア 航空隊の活動を維持するために、新隊員を早期養成し、体制を補完する。 イ ヘリコプターの整備を適正に実施し、円滑な警察活動を推進する。 ウ 整備士を育成し、安定的な機体運用を図る。 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 12, 376 決定額 12, 376  $\triangle 3,488$ 前年額 15,864 15,864

事業名	ヘリコプター活動	]経費(警察活動			
単位事業名	養成訓練関係経費	}	予算額	65千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	65	Δ1			
合計	65	Δ1			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
旅費	65	Δ1	 整備士訓練旅費 		
合計	65	Δ1			
単位事業名	ヘリコプター整備	関係経費		予算額	325千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	325	Δ1			
合計	325	Δ1			

単位事業名	ヘリコプター整備関係経費			予算額	325千円
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
旅費	325	Δ1	法定検査旅費		
合計	325	Δ1			
単位事業名	資格取得訓練経費	Ì		予算額	9, 272千円
〇歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	9, 272	△2, 247			
合計	9, 272	△2, 247			
					 (単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
旅費	1, 092	63	 整備士資格取得訓練旅費 		
委託料	8, 180	Δ2, 310	整備士資格取得訓練委託料		
合計	9, 272	△2, 247			

単位事業名	操縦士訓練関係紹	E費	予算額	2,714千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	2, 714	△780			
合計	2, 714	△780			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
旅費	74	12	操縦士訓練旅費		
委託料	2, 640	△792	操縦士訓練委託料		
合計	2, 714	△780			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2234

内線: 2234 (単位:千円)

			1 3//31 ===					( 1			
番号	事業名					款	項	目		説明事業	
P8 人身安全	関連事案対策	<b>策推進事業</b>		一; 計	·般会 ·	警察費	警察活 動費	警察活動費	一般活動費		
事 業 令和 2 <sup>年</sup> 期 間	事 業│令和 2年度~│根 拠│警察法第2条、ストーカー行為等の規制等に関する法律第7│ 針路   02 県民の暮らしの安心確保   SDGsゴール						5, 16 \ 5-2, 16-1				
1 事業概要	1		5 事業説明			1		1		*	-
		関連事案について、									
対応をとるため	の体制の確保と	:被害者保護対策を		安全関連シ		7 14 1		va e dol			
マート自党会	現事シフテル等	野田奴弗 00 00		テム保守委				リース料		20,390千円	
	関連システム道 ー・DV保護対			、一カー・□ 言手数料、機				場所経費		1,920千円	
内容)都道府県警	(県10/10) 置の状況 引目)警察活動費 系費補助金対 る人件費、組織	費(細節)一般活動費 象経費 歳の新設、改廃及び	シスト イスト被 ・ 放 ・ 加ス (3) 事業効 シス活動 【成果	を全関連シースを を会と、というでは、 では、できます。 できまする。 できまなな。 できまななな。 できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	こD 垂系 加 よートか保 装経 者 迅プカ	る護 置費 に 速かり (を) を	管理経費	費用負担、スト	種保護対策の推進による 一カー推進医療受診の働 な対処を図り、県民の安	きかけ	きとなる。
				財	源	内	訳			(m m l )	前年との
予算	額	国庫支出金								一般財源	対比
決定額	22, 310									21, 952	407
前年額	21, 903	389								21, 532	101
11.1 L H24	21, 000	000						1		21, 011	

事業名	人身安全関連事案	<b>ミ対策推進事業</b>			
単位事業名	人身安全関連システム運用経費			予算額	20, 390千円
〇歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	20, 390	470			
合計	20, 390	470			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	8, 470	470	システム保守委託		
使用料及び賃借料	11, 920	0	器機賃借料		
合計	20, 390	470			
	•				
単位事業名	ストーカー・DV	′保護対策の推進終	圣費	予算額	1, 920千円
〇歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庫支出金 · 警察活動費補助金	358	△31	警察活動費補助金 補助率 5/10		

単位事業名	ストーカー・DV	′保護対策の推進糺	<b>圣</b> 費	予算額	1,920千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	1, 562	△32			
合計	1, 920	△63			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
役務費	143	0	助言手数料		
使用料及び賃借料	1, 762	△63	器機使用料等		
負担金、補助及び交付金	15	0	講習受講料		
合計	1, 920	△63			

課室名:会計課 担当名:予算係

内線: 2234 (単位:千円) 番号 事業名 会計 項 説明事業 款 Ħ サイバー犯罪等事態対処能力の強化 一般会 警察費 警察活 警察活動費 一般活動費 動費 県民の暮らしの安心確保 根 拠 警察法第2条 SDGsz -N 16 平成26年度~ 針路 法 令 期間 分野施策 | 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターゲット 16-4 1 事業の概要 5 事業説明 産学官が連携し、サイバー空間における防犯意識の向 (1) 事業内容 上を図るとともに、サイバー関連事犯に対する事態対処 ア サイバー空間の安全とモラルの確立 3,217千円 能力を強化する。 協議会、民間活力の活用促進、有識者への嘱託 イ サイバー犯罪対処能力の向上 10,628千円 ア サイバー空間の安全とモラルの確立 3,217千円 捜査員の裾野の拡大、スペシャリストの育成 ウ サイバー空間の脅威への対処にかかる組織基盤の強化 825千円 イ サイバー犯罪対処能力の向上 10.628千円 ウ サイバー空間の脅威への対処にかかる組織基盤 解析資機材の整備、情報収集・追跡用通信料 の強化 825千円 エ サイバー犯罪捜査の効率化 6.749千円 エ サイバー犯罪捜査の効率化 捜査効率化を図るための環境整備 6,749千円 オ サイバー犯罪捜査力の強化 47,022千円 オ サイバー犯罪捜査力の強化 47,022千円 情報通信機器の証拠収集と解析力を強化するための環境整備 (2) 事業計画 ア 産学官が連携し、サイバー空間におけるセキュリティが確保された県づくりを推進する。 2 事業主体及び負担区分 イ サイバー空間において、様々な事態に対処できるようサイバー犯罪対処能力の強化を図る。 (国1/2、県1/2)(県10/10) ウサイバー空間における追跡能力及び情報収集能力の向上を図る。 エ 環境整備により捜査の効率化を図る。 オ 環境整備により証拠収集能力の強化及び解析力の向上を図る。 3 地方財政措置の状況 (3) 事業効果 県民のインターネット利用に関する規範意識・防犯意識の醸成が図れるとともに、捜査員の育成等による捜査の 普通交付税(単位費用)(区分)警察費(細目)警察管理費( 効率化対策を推進することにより、高度な事態対処能力を確保して、検挙能力の維持、向上を図ることができる。 細節)警察職員費(積算内容)サイバー犯罪対策技術顧問 【活動指標(アウトプット)】より多くの捜査員に実務的かつ高度な教養を実施する(月8回、180人実施) 【成果指標(アウトカム)】サイバー空間における県民の安全・安心を確保 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1,4人=13,300千円

			財 源	内	訳			前年しの
	予算額	国庫支出金					一般財源	前年との 対比
決定額	68, 441	350					68, 091	41, 420
前年額	27, 021	104					26, 917	

事業名	サイバー犯罪等事態対処能力の強化		
単位事業名	サイバー空間の安全とモラルの確立	予算額	3, 217千円

 ○歳入
 (単位:千円)

 款・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 3,217
 23

 合計
 3,217
 23

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
幸促西州	1, 517	△1, 032	有識者への嘱託
旅費	87	△42	有識者旅費
需用費	55	Δ10	印刷製本費
役務費	1, 050	982	講師派遣手数料
使用料及び賃借料	508	125	会場借上料等
合計	3, 217	23	

単位事業名	サイバー犯罪対処	1能力の向上		予算額	10,628千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	10, 628	△4, 621			
合計	10, 628	△4, 621			
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	0	△11, 410			
使用料及び賃借料	2, 541	2, 541	教養用資機材関係使用料		
負担金、補助及び交付金	8, 087	4, 248	講習参加料等		
合計	10, 628	△4, 621			
	•		•		
単位事業名	サイバー空間の脅	サイバー空間の脅威への対処にかかる組織基盤の強化			825千円

○歳入			(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金 · 警察活動費補助金	350		警察活動費補助金 補助率 5/10

単位事業名	サイバー空間の脅	サイバー空間の脅威への対処にかかる組織基盤の強化			825千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	475	246			
合計	825	492			
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	700	492	解析資機材ライセンス		
役務費	125	0	機器通信料		
合計	825	492			
単位事業名	サイバー犯罪捜査	の効率化		予算額	6,749千円
			(単位:千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	6, 749	△1, 496			
合計	6, 749	△1, 496			

単位事業名	サイバー犯罪捜査の効率化			予算額	6, 749千円			
〇歳出					(単位:千円)			
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容				
役務費	0	△1,320						
使用料及び賃借料	6, 749	△176	端末等使用料					
合計	6, 749	△1, 496						
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
単位事業名	サイバー犯罪捜査	力の強化		予算額	47, 022千円			
〇歳入					(単位:千円)			
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容				
一般財源	47, 022	47, 022						
合計	47, 022	47, 022						
〇歳出					(単位:千円)			
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容				
使用料及び賃借料	47, 022	47, 022	システム使用料等					
合計	47, 022	47, 022						

課室名:会計課担当名:予算係

内線: 2234 (単位:千円) 事業名 番号 会計 項 説明事業 款 Ħ 一般会 警察費 警察活 警察活動費 一般活動費 警備・災害対策経費 N60 動費 根 拠 警察法 災害・危機に強い埼玉の構築 SDGsz -N 16 平成27年度~ 針路 法 令 期間 分野施策 | 0101 危機管理・防災体制の再構築 SDGsターゲット 16-1 1 事業の概要 5 事業説明 各種警備に向けた、装備・体制の強化を図るととに、 (1) 事業内容 官民一体となった対策を推進し、治安を維持する危機管 ア 会議関係経費 官民合同の協議会開催等経費 152千円 理体制の基盤を構築する。 装備資機材整備経費 銃器対策資機材等整備費 13,929千円 ウ 官民合同訓練経費 関係機関との合同訓練経費 244千円 ドローン関連資材、ドローン映像伝送装置通信料等 ア 会議関係経費 152千円 エ ドローン対策の強化 2,899千円 才 特殊車両等技能取得経費 大型免許取得委託 2,949千円 イ 装備資機材整備経費 13.929千円 カ 非常時映像伝送システム整備経費 非常時映像伝送システム借上料、回線使用料 ウ 官民合同訓練経費 244千円 11,544千円 エ ドローン対策の強化 2.899千円 キ 指揮機能の強化 モバイル映像伝送装置関係経費 43.094千円 才 特殊車両等技能取得経費 ク 防災対応力の強化経費 災害対策用資機材の整備等 2,949千円 9.891千円 カ 非常時映像伝送システム整備経費 11,544千円 (2) 事業計画 キ 指揮機能の強化 43,094千円 ク 防災対応力の強化経費 9,891千円 大規模警備時や不特定多数の者が集まる施設及び場所等に対する各種テロ対策を継続的に実施 老朽化した各種資機材の計画的更新、時代や災害現場のニーズに即した新たな災害対策用資機材の整備 2 事業主体及び負担区分 (3) 事業効果 (県10/10) ア テロ・ゲリラ対策や治安維持体制の整備、県民の危機管理意識の醸成及び人材の育成を図る。 各種警備に向けて、計画的に官民一体となった危機管理体制の基盤を構築し、万全の警備体制で臨むことによ り、県民の安全を確保し、治安を維持する。 イ テロ事案だけではなく、大規模災害発生時や各種対策時においても活用できる。 3 地方財政措置の状況 ウ 災害に備えた装備資機材を整備することにより、迅速な警備活動が可能となり多くの県民を守ることができる。 エ 災害に強い警察をアピールすることにより、県民の信頼を得ることができる。 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 対比 決定額 84, 702 84, 702 846 前年額 83,856 83, 856

事業名	警備・災害対策経	警備・災害対策経費				
単位事業名	会議関係経費	会議関係経費			予算額	152千円
 ○歳入						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
款・節	当初予算額	対前年度増減額			主な内容	
一般財源	152	△229				
合計	152	△229				
〇歳出						(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額			主な内容	
報償費	27	Δ8	講師謝金 8	回分		
使用料及び賃借料	125	△221	会場使用料	2回分		
合計	152	△229				
単位事業名	装備資機材整備紹	登費			予算額	13, 929千円
○歳入				(単位:千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額			主な内容	
一般財源	13, 929	4, 976				
合計	13, 929	4, 976				

単位事業名	装備資機材整備紹	装備資機材整備経費			13, 929千円
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	9, 666	5, 866	  各種警備関係消耗品、資機材候 	<b>多繕料等</b>	
役務費	404	404	警備関係資機材点検料		
備品購入費	3, 859	△1, 294	各種警備関係資機材購入費		
合計	13, 929	4, 976			
単位事業名	官民合同訓練経費	Ĭ		予算額	244千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	244	△33			
合計	244	△33			
	•				(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	226	△33	官民合同訓練消耗品		

単位事業名	官民合同訓練経費			予算額	244千円
				l l	 (単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	(平   二   1   1   1
役務費	18	0	傷害保険料		
合計	244	△33			
単位事業名	ドローン対策の強	訛化		予算額	2,899千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	2, 899	186			
合計	2, 899	186			
〇歳出					 (単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	930	△185	ドローン修繕料		
役務費	1, 969	371	ドローン保険料(施設賠償保	険、動産総合保険)等	F
合計	2, 899	186			

単位事業名	特殊車両等技能取得経費			予算額	2,949千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	2, 949	△121			
合計	2, 949	△121			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	2, 949	△121	特殊車両免許取得教習		
合計	2, 949	△121			
単位事業名	非常時映像伝送シ	<b>ノステム整備経費</b>		予算額	11,544千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	11, 544	△361			
合計	11, 544	△361			

単位事業名	非常時映像伝送シ	<b>ノステム整備経費</b>		予算額	11,544千円		
〇歳出					(単位:千円)		
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
役務費	2, 132	71	システム回線料				
使用料及び賃借料	9, 412	△432	システム使用料				
合計	11, 544	△361					
単位事業名	指揮機能の強化			予算額	43, 094千円		
○歳入					(単位:千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
一般財源	43, 094	△23					
合計	43, 094	△23					
				(単位:千円)			
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
需用費	213	0	伝送装置修繕料				
役務費	1, 349	91	伝送装置回線料				

単位事業名	指揮機能の強化			予算額	43,094千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	41, 532	△114	システム使用料		
合計	43, 094	△23			
単位事業名	防災対応力の強化	<b>公</b> 経費		予算額	9,891千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	9, 891	2, 132			
合計	9, 891	2, 132			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	8, 069	4, 551	災害対策関係消耗品		
役務費	828	676	賠償保険料、資機材点検手数	料等	
備品購入費	994	△3, 095	災害対策関係資機材購入費		

L

単位事業名	防災対応力の強化経費	予算額	9,891千円

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	9, 891	2, 132	

予算額

59,036

0

決定額

前年額

課室名:会計課担当名:予算係

前年との

対比

59,036

一般財源

59,036

内線: 2234 (単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 説明事業 Ħ 大規模警備関係経費 一般会 警察費 警察活 警察活動費 一般活動費 P24 動費 災害・危機に強い埼玉の構築 令和 6年度~ 根 拠 警察法 針路 SDGs¬¬N 16 期間 令和 7年度 法 令 分野施策 0101 危機管理・防災体制の再構築 SDGsターゲット 16-1 1 事業概要 5 事業説明 令和6年度に開催される自衛隊記念日観閲式及び令和 (1) 事業内容 7年度に開催される第75回全国植樹祭におけるテロの未 ア 第75回全国植樹祭警備対策事業 56,324千円 然防止及び対処体制の強化 警備関係資機材の整備、大規模警備先行実施県への視察旅費等 イ 自衛隊記念日観閲式警備対策事業 2,712千円 ア 第75回全国植樹祭警備対策事業 警備関係資機材、交通渋滞緩和対策用資機材の整備等 56,324千円 自衛隊記念日観閲式警備対策事業 2.712千円 (2) 事業計画 ア 令和6年度 自衛隊記念日観閲式警備 イ 令和7年度 第75回全国植樹祭警備 (3) 事業効果 ア 大規模警備における警衛・警護対象者の絶対安全の確保をはじめ、綿密な警備計画の策定、必要な資機材の整 備、テロ・ゲリラ等の不法行為の未然防止等、県警察の総力をあげた警備体制の確立を実現する。 イ 令和6年度の自衛隊記念日観閲式及び令和7年度の第75回全国植樹祭に向けて、計画的に官民一体となった危 2 事業主体及び負担区分 機管理体制の基礎を構築し、万全の体制で臨むことにより、県民の安全を確保し、治安を維持する。 (県10/10) 【活動指標(アウトプット)】綿密な警備計画の策定、警備体制の強化、従事する警察官の能力向上 【成果指標(アウトカム)】 警護対象者に対する不法事案の発生0件、県民及び周辺住民に対する平穏な生活の妨害 0件 3 地方財政措置の状況 なし 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 警備部警備課植樹祭対策室の設置 財 源 内 訳

事業名	大規模警備関係経費		
単位事業名	第75回全国植樹祭警備対策事業	予算額	56, 324千円

 ○歳入
 第・節
 当初予算額
 対前年度増減額
 主な内容

 一般財源
 56,324
 56,324

 合計
 56,324
 56,324

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	1, 953	1, 953	大規模警備先行実施県への視察旅費
需用費	44, 834	44, 834	警備関係資機材の整備費用
役務費	66	66	コピー機搬入手数料
使用料及び賃借料	188	188	視察に係るレンタカー代
備品購入費	9, 283	9, 283	警備関係資機材の整備費用
合計	56, 324	56, 324	

単位事業名	自衛隊記念日観閲式警備対策事業			予算額	2,712千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	2, 712	2, 712			
合計	2, 712	2, 712			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	1, 907	1, 907	  警備関係資機材の整備費用 		
役務費	752	752	電話等回線料、交通整理用資格	幾材設置・撤去	<b>长手数料</b>
使用料及び賃借料	53	53	交通整理用資機材使用料		
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

2, 712

2, 712

合計

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2234

内線: 2234 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項		目		説明事業	
P7	特殊詐欺総合対策の持	. –		一般会計	警察費	警察活 動費	警察活		地域防犯活動推進費		
事業期間	平成27年度~ 根 拠 法 令	警察法第2条			ļ 1		02 0201		暮らしの安心確保 策の推進と捜査活動の強	SDGsコ゛ール 食化 SDGsターケ゛ッ	
- 増」 デイ ウエ 2 (国 1/2 3 (内 4 事	業の概要 する特殊詐欺へ対処する 両輪での継続的な対策を 被害水際防止作戦 押収名簿を活用した特別 ネットワークカメラの追 デジタル情報解析の強化 業主体及び負担区分 ・県1/2)(県10/10) 「大財政措置の状況 警察費(細目)警察費補助金対 等察費(細目)警察費補助金対 業費に係る人件費、組経 千円×8.3人=78,850千円	1,572千円 株詐欺予防対策 21,080千円 種用 13,035千円 と 3,036千円 と 3,036千円 と 3,036千円	に係ネッジ 京本 京本 京本 京本 事 で で で で で で で で で で で で で	活託ク報 止ン載設ク、 をにて用料カ解 作通者定カデ 向検トし、メ析 戦報に率メジ 上挙プ ししプ	特の強よけらのルハハツな運化りて上運デ高犯引の、、し用ー齢罪引	欺 (情 特予、、タ 者組水所) おいま (	策 リ用 抑を発ル等 者滅総 ( 一端 止促生情に とさ件 なせ数2 なせ数2 かんり	ト 大 リ 大 リ ス 大 大 リ ス 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ルによる注意喚起架電及 ) 場に派遣し、被害を水際 喚起をすることで、新規 境が創出される。	で防止する。 留守番電話設定者が 、被疑者を早期に検 抑止する。 数の向上	21,080千円 13,035千円 3,036千円 3増加するととも
			財	源	内	訳					前年との
	予算額	国庫支出金								一般財源	対比
決定	***	,								28, 183	△59, 333
前年	額 98,056	40, 522								57, 534	

- <del></del>	4+ T4 = L + L /// A + 1 / A	- 0.14.>4		7	
事業名 	特殊詐欺総合対策	の推進			
単位事業名	被害水際防止作戦	t		予算額	1,572千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	1, 572	631			
合計	1, 572	631			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	909	380	 特殊詐欺対策員活動資機材等 		
	663	251	通信回線料		
合計	1, 572	631			
単位事業名	押収名簿を活用し	た特殊詐欺予防力	対策	予算額	21,080千円
					(単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察活動費補助金	10, 540		警察活動費補助金 補助率 5/10

単位事業名	押収名簿を活用した特殊詐欺予防対策			予算額	21,080千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	10, 540	△29, 982			
合計	21, 080	△59, 964			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	21, 080	△59, 964	 注意喚起架電、留守番電話設定 	2調査	
合計	21, 080	△59, 964			
単位事業名	ネットワークカメ	ラの運用		予算額	13,035千円
○歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	13, 035	0			
合計	13, 035	0			

単位事業名	ネットワークカメ	ラの運用		予算額	13,035千円
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	13, 035	0	  ネットワークカメラ賃借料 		
合計	13, 035	0			
単位事業名	デジタル情報解析	の強化		予算額	3,036千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	3, 036	0			
合計	3, 036	0			
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	3, 036	0	 情報解析用端末賃借料 		
合計	3, 036	0			

決定額

前年額

850

850

課室名: 会計課担当名: 予算係

850

850

内線: 2233 (単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業 団体補助金((公社)埼玉犯罪被害者援助センター) 一般会 警察費 警察活 警察活動費 被害者支援推進経費 P30 動費 根 拠 警察法 県民の暮らしの安心確保 平成14年度~ 針路 SDGs¬¬¬N 16 期間 法 令 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターケ`ット 16-6 1 事業概要 5 事業説明 犯罪等の被害者及びその遺族に対し、精神的援助その (1) 事業内容 他各種援助活動を行うとともに、被害者等の被害の回復 (公社)埼玉犯罪被害者援助センター (公社)埼玉犯罪被害者援助センターに対する補助金 850千円 及び軽減を図る。 (2) 事業計画 (公社)埼玉犯罪被害者援助センター 850千円 犯罪被害者及びその遺族は、直接的な被害のみならず、精神的被害等も受けており、精神的援助その他各種援助活 動による被害の回復及び軽減を図る。 (3) 事業効果 各種援助活動を展開することで、被害者及びその遺族の権利を保護し、各種捜査活動における被害者及び県民の協 力・信頼を確保できる。 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 対比

事業名	団体補助金((公社)埼玉犯罪被害者援助センター)		
単位事業名	(公社)埼玉犯罪被害者援助センター	予算額	850千円

_〇歳入			(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	850	0	
合計	850	0	

<u>〇歳出</u>			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	850	0	(公社)埼玉犯罪被害者援助センターへの補助金
合計	850	0	

課室名:会計課担当名:予算係

SDGsターゲット 3-5, 5-2, 16-1, 16

51,094千円

46,812千円

内線: 2234 (単位:千円) 事業名 番号 会計 款 項 説明事業 Ħ 刑事警察費 一般会 警察費 警察活 警察活動費 刑事警察活動費 動費 県民の暮らしの安心確保 昭和29年度~ 根 拠 警察法第2条 SDGs="-N 3, 5, 16 針路 02

事業概要

期間

捜査用装備資機材等の充実を図る。

ア サイバー犯罪対処能力の強化資機材

イ 指定通訳官等養成経費

ウ 民間通訳人関係経費46,812千円エ 捜査力強化資機材の整備76,320千円

法 令

オータブレット端末による検視業務の効率化

75, 461千円

51,094千円

5,821千円

カ 撮影画像の改ざん防止サーバ導入による捜査活動 の高度化・効率化 1,973千円

2 事業主体及び負担区分

(国1/2・県1/2)、(県10/10)

3 地方財政措置の状況

普通交付税(単位費用)(区分)警察費(細目)警察活動費(細節)刑事警察費(積算内容)都道府県警察費補助金対象経費

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×16.2人=153,900千円 5 事業説明

(1) 事業内容

ア サイバー犯罪対処能力の強化資機材 解析資機材等の購入費、借上料等

イ 指定通訳官等養成経費 指定通訳官等の語学力のスキルアップを図るための研修委託経費 5,821千円

防犯対策の推進と捜査活動の強化

ウ 民間通訳人関係経費 外国人犯罪捜査に伴う民間通訳人に対する通訳料等

分野施策 | 0201

エ 捜査力強化資機材の整備 捜査力強化のためのネットワークカメラ等の借上料等 76,320千円

オータブレット端末による検視業務の効率化 検視システム用タブレット端末の借上料等 15,461千円

カ 撮影画像の改ざん防止サーバ導入による捜査活動の高度化・効率化 改ざん防止サーバ借上料 1,973千円

(2) 事業計画

捜査環境の整備強化、捜査用資機材等の適正な維持管理を図る。

(3) 事業効果

犯罪の広域化、巧妙化の進展等、捜査を取り巻く環境の悪化に、迅速かつ的確に対応し、県民生活の安全な生活と平穏を確保することで、県民の期待と信頼に応える。

【活動指標(アウトプット)】刑法犯検挙率 36.3% (令和4年中)

【成果指標(アウトカム)】捜査員の人的基盤の強化及びデジタル技術の活動により捜査活動が更に効率化

			財 源 内 訳			前年しの		
	予算額	国庫支出金					一般財源	前年との 対比
決定額	197, 481	25, 633					171, 848	22, 686
前年額	174, 795	19, 644					155, 151	

事業名	刑事警察費		
単位事業名	サイバー犯罪対処能力の強化資機材	予算額	51,094千円

 ○歳入
 ・節・節
 ・約4万名質額
 ・対前年度増減額
 ・主か内容

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	51, 094	10, 169	
合計	51, 094	10, 169	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

			\ <del>+</del>   <b>E</b> : 113/
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	48, 791	8, 450	防犯カメラ画像解析装置消耗品、インクカートリッジ購入費等
使用料及び賃借料	0	△584	防犯カメラ画像解析装置賃借料
備品購入費	2, 303	2, 303	データ抽出用資機材
合計	51, 094	10, 169	

単位事業名    指定通訳官等養成経費    予算額    5,821日
--------------------------------------

<u>○歳入</u> (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金 · 警察活動費補助金	2, 748	3	警察活動費補助金 補助率 5/10

単位事業名    指定通訳官等養成経費    予算額    5,821-
--------------------------------------

(単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3, 073	3	
合計	5, 821	6	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	323	0	部内通訳人クラスチェック謝金
旅費	260	6	通訳従事者語学研修旅費
役務費	98	0	語学研修費
委託料	5, 140	0	通訳翻訳要員研修費、通訳業務従事者語学研修費
合計	5, 821	6	

単位事業名	民間通訳人関係紹	E費		予算額	46,812千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庙支出全。	21 800	5 000	<b>整</b> 寂汗		

国庫支出金 • 警察活動費補助金	21, 899	5, 000	警察活動費補助金 補助率 5/10
一般財源	24, 913	4, 995	
合計	46, 812	9, 995	

〇歳出 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	42, 379	10, 270	民間通訳人報償費
旅費	2, 770	△5	民間通訳人旅費
役務費	1, 663	△270	通訳料、民間通訳人傷害保険料
合計	46, 812	9, 995	

単位事業名	捜査力強化資機材	か整備		予算額	76, 320千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	76, 320	543			
合計	76, 320	543			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	506	△40	  防犯カメラ画像解析装置消耗品 		
使用料及び賃借料	75, 814	583	防犯カメラ解析装置賃借料、持	捜査用カメラ賃	<b>賃借料等</b>
合計	76, 320	543			
単位事業名	タブレット端末に	よる検視業務の	効率化	予算額	15, 461千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	15, 461	0			
合計	15, 461	0			

単位事業名	タブレット端末に	よる検視業務の刻	<b>効率化</b>	予算額	15, 461千円
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
役務費	8, 638	0	通信料		
使用料及び賃借料	6, 823	0	検視用タブレット賃借料		
合計	15, 461	0			

|--|

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察活動費補助金	986	986	警察活動費補助金 補助率 5/10

単位事業名	撮影画像の改ざん防止サーバ導入による捜査活動の高度化・効率化			予算額	1, 973千円
					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	987	987			
合計	1, 973	1, 973			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	1, 973	1, 973	撮影画像改ざん防止サーバ使用	月料	
合計	1, 973	1, 973			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2234

(単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 説明事業 Ħ 一般会 警察費 警察活 警察活動費 刑事警察活動費 刑事警察費(內部管理経費) N57 動費 県民の暮らしの安心確保 根 拠 警察法第2条 SDGs="-N 3, 5, 16 昭和29年度~ 針路 02 法 令 期間 分野施策 0201 防犯対策の推進と捜査活動の強化 SDGsターゲット 3-5, 5-2, 16-1, 16 事業概要 事業説明

捜査に活用するシステム等の維持管理・運用経費。

捜査活動経費 150,960千円 捜査資機材の整備 240,158千円

ウ 指紋自動識別システム経費 118,768千円

エ 自動車ナンバー自動読取システム維持経費

314,331千円 重要犯罪等捜査支援システムの整備 258,453千円

カ 高度分析システムの運用

382,288千円 キ 検視システムの運用 13,907千円

捜査管理システムの運用 48,444千円

ケ 捜査効率向上環境の整備 10,088千円

#### 2 事業主体及び負担区分

 $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10)

#### 3 地方財政措置の状況

普通交付税(単位費用)(区分)警察費(細目)警察活動費( |細節)刑事警察費(積算内容)都道府県警察費補助金対象 経費

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10.2人=96,900千円

#### (1) 事業内容

捜査活動に対する報償費、捜査上不可欠な消耗品、民間車両借上料等 ア 捜査活動経費 150,960千円

捜査資機材の整備 現場活動に必要な資機材や鑑定・検視業務に使用する試薬類の購入経費 240,158千円 指紋自動識別システム経費 機器の借上料及び消耗品 118,768千円

エ 自動車ナンバー自動読取システム維持経費 システム維持管理のための電気料、回線使用料、

委託料及び機器借上料

314.331千円

オ 重要犯罪等捜査支援システムの整備 システム維持管理のあための電気料、回線使用料等 258,453千円

カ 高度分析システムの運用 事件分析力を強化するシステムの機器借上料等

382,288千円 キ 検視システムの運用 検視業務の効率化を図るためのシステムの機器借上料等 13,907千円

ク 捜査管理システムの運用 捜査情報管理の合理化・効率化等を目的としたシステムの運用経費 48,444千円

映像解析の合理化・効率化を目的とした環境の整備に係る経費 ケ 捜査効率向上環境の整備 10.088千円

#### (2) 事業計画

捜査環境の整備強化、捜査用システム等の適正な維持管理を図る。

#### (3) 事業効果

犯罪の広域化、巧妙化の進展等、捜査を取り巻く環境の悪化に、迅速かつ的確に対応し、県民生活の安全と平穏 を確保することで、県民の期待と信頼に応える。

		財 源 内 訳					前年との	
	予算額	国庫支出金	県 債				一般財源	対比
決定額	1, 537, 397	127, 436	25, 000				1, 384, 961	391, 502
前年額	1, 145, 895	104, 592					1, 041, 303	

事業名	刑事警察費(内部管理経費)		
単位事業名	捜査活動経費	予算額	150, 960千円

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

			(丰屋:   1 1)/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金 • 警察活動費補助金	63, 788		警察活動費補助金 補助率 5/10
一般財源	87, 172	△2, 064	
合計	150, 960	△209	

**○**歳出 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	67, 285	209	捜査報償費、参考人謝金、講師謝金、嘱託警察犬報償費等
需用費	44, 868	340	消耗品、参考図書購入費、暴排リーフレット製本費等
役務費	11, 444	228	被疑者護送運搬料、検視関係廃棄手数料、画像検査料等
委託料	19, 415	356	解剖委託料、暴力団排除意識高揚業務等委託料等
使用料及び賃借料	7, 027	△1, 288	レンタカー借上料、暴力団排除県民大会会場借上料等

単位事業名	捜査活動経費	予算額	150, 960千円
	•		

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容	
負担金、補助及び交付金	921	△54	研修会参加費、各種学会負担金、講習会聴講料等	
合計	150, 960	△209		

〇歳入 (単位:千円)

し成人			(年位・11]/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金 · 警察活動費補助金	49, 816	20, 712	警察活動費補助金 補助率 5/10
県債・ 警察債	25, 000	25, 000	警察署庁舎建設事業債
一般財源	165, 342	△1,620	
合計	240, 158	44, 092	

単位事業名 捜査資機材の整備	予算額	240, 158千円
----------------	-----	------------

 ○歳出

 (単位:千円)

○			(辛匹: 111)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	75, 145	△7, 238	捜査関係消耗品、実証実験経費、捜査資機材修繕料等
役務費	5, 124	276	会議電話装置システム費、鑑定検査手数料等
委託料	26, 316	864	現場写真作成装置保守委託料、鑑定器機保守委託料等
使用料及び賃借料	84, 420	4, 344	捜査用カメラ賃借料、科捜研鑑定器機賃借料等
備品購入費	49, 153	45, 846	特殊犯突入型防護衣購入費、カメラ機材購入費等
合計	240, 158	44, 092	

	単位事業名	指紋自動識別システム経費			予算額	118, 768千円
〇歳入						(単位:千円)
	款•節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
	一般財源	118, 768	1, 179			
	合計	118, 768	1, 179			

単位事業名	指紋自動識別シス	、テム経費		予算額	118, 768千円
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	705	△75	消耗品		
使用料及び賃借料	118, 063	1, 254	  指紋自動識別システム機器賃信 	昔料	
合計	118, 768	1, 179			

単位事業名	自動車ナンバー自	動読取システム約	推持経費	予算額	314, 331千円
_ <b>○</b> 歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庫支出金· 警察活動費補助金	13, 832		警察活動費補助金 補助率 5/10		

г

		単位事業名	自動車ナンバー自動読取システム維持経費	予算額	314, 331千円
--	--	-------	---------------------	-----	------------

(単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	300, 499	713	
合計	314, 331	990	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	12, 208	2, 420	消耗品、電気使用料、システム修繕料等
役務費	64, 086	△528	回線使用料等
委託料	0	△2, 057	点検・清掃委託
使用料及び賃借料	238, 037	9, 207	自動車ナンバー自動読取システム賃借料
工事請負費	0	△8, 052	移設・再設置費

単位事業名	自動車ナンバー自	動読取システム	維持経費	予算額	314, 331千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
合計	314, 331	990			
単位事業名	重要犯罪等捜査支	援システムの整備	<b></b>	予算額	258, 453千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	258, 453	788			
合計	258, 453	788			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	3, 415	788	電気使用料		
役務費	25, 281	0	回線使用料		
使用料及び賃借料	229, 757	0	重要犯罪等捜査支援システム質	<b>責借料</b>	
合計	258, 453	788			

L

単位事業名	高度分析システム	の運用		予算額	382, 288千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	382, 288	345, 064			
合計	382, 288	345, 064			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	473	△490	消耗品		
役務費	80	0	インターネット利用料		
委託料	344, 002	333, 653	保守委託料		
使用料及び賃借料	37, 733	11, 901	サーバ賃借料		
合計	382, 288	345, 064			

	F			1 :	
単位事業名	検視システムの選	<b>I</b> 用		予算額	13, 907千円
<u>○歳入</u>					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	13, 907	△402			
合計	13, 907	△402			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	5, 005	55	保守委託料		
使用料及び賃借料	8, 902	△457	サーバ賃借料		
合計	13, 907	△402			
単位事業名	捜査管理システム	の運用		予算額	48, 444千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	48, 444	0			
合計	48, 444	0			

単位事業名	捜査管理システムの運用			予算額	48, 444千円		
○歳出				(単位:千円)			
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
委託料	13, 200	0	保守委託料				
使用料及び賃借料	35, 244	0	サーバ賃借料				
合計	48, 444	0					
単位事業名	捜査効率向上環境		予算額	10, 088千円			
<u>○歳入</u>					(単位:千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
一般財源	10, 088	0					
合計	10, 088	0					
					(単位:千円)		
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
使用料及び賃借料	10, 088	0	端末等賃借料				
合計	10, 088	0					

課室名: 会計課 担当名: 予算係

内線: 2236 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	目	説明哥	業
P28	信号機の計画的	りな更新(ファシリティマネジ	ジメント)	一般会	警察費	警察活	警察活動費	交通安全施設整備費	
F20				計		動費			
事 業	平成15年度~	根 拠 道路交通法				針路	02 県民の	暮らしの安心確保	SDGsゴール 3
期間		法 令 交通安全施設等整備事業	の推進に関する法律		分	野施策	0202 交通安	全対策の推進	SDGsターケ゛ット 3-6
1 事	業概要		5 事業説明		•				
	資産総合管理方針	計に基づき、老朽化した交通信	(1) 事業内容						

|号機の計画的更新を実施する。

- ア 計画的な信号機の更新(補助) 1,357,865千円
- イ 計画的な信号機の更新(県単) 1,409,345千円
- ウ 信号柱共架物移設経費
- 1.898千円

県内に設置された交通信号機について、老朽化による信号柱の倒壊、信号灯器の落下、信号の誤表示等 を防ぐため、県有資産総合管理方針に基づき計画的な更新を実施する。

- (2) 事業計画
  - ア 信号制御機の更新 470基
  - イ 信号柱の更新 181本
  - ウ 信号灯器LED化 車両用 550交差点 歩行者用 126交差点
- (3) 事業効果

交通安全施設の適正状態の維持及び道路における交通環境の改善を行うことにより、交通規制を確実に 担保し、交通事故防止及び交通の円滑化を図る。

2 事業主体及び負担区分  $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10)

3 地方財政措置の状況 地方債の充当率 90%・75% 交付税措置 元利償還金について、その33.3%を基 準財政需要額に算入

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.3人=12,350千円

【整備状況(当初予算)】 令和3年度 令和4年度 令和5年度 信号制御機の更新 425基 430基 503基 信号柱の更新 300本 330本 250本 ·信号灯器LED化 車両用 433交差点 480交差点 430交差点 歩行者用 73交差点 120交差点 75交差点

【活動指標(アウトプット)】信号制御機、信号柱の更新、信号灯器のLED化

【成果指標(アウトカム)】 交通事故件数の減少

				財 源	内 訳			前年との
	予算額	国庫支出金	県 債				一般財源	対比
決定額	2, 769, 108	678, 932	2, 042, 000				48, 176	160, 022
前年額	2, 609, 086	369, 949	2, 203, 000				36, 137	

事業名	信号機の計画的な更新(ファシリティマネジメント)		
単位事業名	計画的な信号機の更新(補助)	予算額	1, 357, 865千円

〇歳入 (単位:千円)

<u>し成八</u>			
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金 · 警察活動費補助金	678, 932		警察活動費補助金 補助率 5/10
県債・ 警察債	664, 000	△4, 000	交通安全施設整備事業債
一般財源	14, 933	△803	
合計	1, 357, 865	304, 180	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	29, 229	6, 547	交通安全施設調査委託
工事請負費	1, 328, 636	297, 633	信号制御機の更新等
合計	1, 357, 865	304, 180	

単位事業名	計画的な信号機の	)更新(県単)		予算額	1, 409, 345千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	1, 378, 000	△157, 000	交通安全施設整備事業債		
一般財源	31, 345	13, 595			
合計	1, 409, 345	△143, 405			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	30, 338	13, 547	交通安全施設調査委託		
工事請負費	1, 379, 007	△156, 952	信号制御機の更新等		
合計	1, 409, 345	△143, 405			

単位事業名	信号柱共架物移設経費			予算額	1,898千円
○歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	1, 898	△753			
合計	1, 898	△753			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
工事請負費	1, 898	△753	重要犯罪等捜査支援システム和	多設費	
合計	1, 898	△753			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2236

内線: 2236 (単位:千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	1 1/1/17	説明事業	
P29 交通安全施設整備費	交通安全施設整備費			警察費	警察活 動費	警察活動費	交通安全施設整備費		
期間法令	道路交通法 交通安全施設等整備事業の推		<u> </u>				暮らしの安心確保 全対策の推進	SDGsュール 3 SDGsターケット3	
1 事業概要 老朽化した道路標識・標示等 また、必要性が低下した安全 な施設への更新により、維持管 ア 老朽化更新 (補助) イ 老朽化更新 (県単) ウ 指定道路対策 エ 既設道路対策 オ 新設道路対策	の更新を実施する。 施設等の撤去又は安価 理費の削減を図る。 95,636千円		御 <sup>ス</sup> 新修の策策 機ト、 新 更 新	新を進 ランニン 道 横 に 信	のグ 直	たに、通信回線: の縮減を図る。 (大型含む) : 150km 停止: 41基 设 1基 道路: サースを表し、道路:	契約や既存の交通安全が 5,000本	:(横断歩道) 7 k m	
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)、(県10/10)	3)	3) 事業効果 交通安全施設 【整備状況(当 ・信号機の ・道路標調 ・道路標示	á初予算) う新設 哉の新設、	更新	É持し、2 3和5年原 28基 6,1177 303kr	度 基 本	に担保することで交通の	の安全と円滑化を図る。	
3 地方財政措置の状況 地方債の充当率 90%・75% 交付税措置 元利償還金につい 準財政需要額に算入	て、その33.3%を基	【活動指標( 【成果指標(					識及び表示の更新、補値	答	
4 事業費に係る人件費、組織 9,500千円×3.6人=34,200千円									
		財	源	内	訳				 前年との
予算額	国庫支出金 県	債						一般財源	対比
決定額 1,887,074	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	176, 000	·		·			631, 494	△442, 052
前年額 2,329,126	319, 729 1,	248, 000						761, 397	

事業名	交通安全施設整備費		
単位事業名	老朽化更新 (補助)	予算額	95, 636千円

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

<u> </u>			(単位:十口/_
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察活動費補助金	47, 818		警察活動費補助金 補助率 5/10
県債・ 警察債	46, 000	△130, 000	交通安全施設整備事業債
一般財源	1, 818	△101, 050	
合計	95, 636	△439, 098	

〇歳出 (単位:千円)

<u> </u>			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	100	△5, 195	交通安全施設調査委託
工事請負費	95, 536	△433, 903	道路標識の補修等
合計	95, 636	△439, 098	

単位事業名	老朽化更新(県単)			予算額	1, 421, 964千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	822, 000	67, 000	交通安全施設整備事業債		
一般財源	599, 964	△34, 684			
合計	1, 421, 964	32, 316			

○歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1, 900	160	交通安全施設整備消耗品等
委託料	10	△7, 108	交通安全施設調査委託
使用料及び賃借料	30	0	交通安全施設整備借上料等
工事請負費	1, 419, 944	39, 264	道路標示の補修等
負担金、補助及び交付金	80	0	交通工学講習会等受講負担金

	1			<u> </u>	
単位事業名	老朽化更新(県単	<u>(1</u> )		予算額	1, 421, 964千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
合計	1, 421, 964	32, 316			
単位事業名	指定道路対策			予算額	63, 533千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
国庫支出金 • 警察活動費補助金	31, 762	△32, 101	警察活動費補助金 補助率 5/10		
県債・ 警察債	28, 000	△61,000	交通安全施設整備事業債		
一般財源	3, 771	△316			
合計	63, 533	△93, 417			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	9	0	信号機等電灯料(新設)		

	単位事業名	指定道路対策	予算額	63, 533千円
--	-------	--------	-----	-----------

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	0	△216	
委託料	100	△1, 369	交通安全施設調査委託
工事請負費	63, 424	△91,832	信号機の新設等
合計	63, 533	△93, 417	

単位事業名	既設道路対策	予算額	127, 295千円
-------	--------	-----	------------

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 警察債	105, 000	38, 000	交通安全施設整備事業債
一般財源	22, 295	8, 630	
合計	127, 295	46, 630	

単位事業名	既設道路対策		予算額	127, 295千円	
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	63	9	 信号機電灯料(新設) 		
委託料	10	Δ1, 008	交通安全施設調査委託		
工事請負費	127, 222	47, 629	信号機の新設等		
合計	127, 295	46, 630			

単位事業名	新設道路対策		予算額	178, 646千円	
○歳入				•	· (単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
県債・ 警察債	175, 000	14, 000	交通安全施設整備事業債		
一般財源	3, 646	△2, 483			
合計	178, 646	11, 517			

単位事業名	新設道路対策		予算額	178, 646千円	
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	162	△27	信号機等電灯料(新設)		
委託料	10	△2, 645	交通安全施設調査委託		
工事請負費	178, 474	14, 189	信号機の新設等		
合計	178, 646	11, 517			

前年額

2, 239, 875

17,014

193, 345

課室名:会計課担当名:予算係

2,029,516

内線: 2236 (単位:千円) 番号 事業名 会計 款 項 目 説明事業 交通安全施設等の維持管理 一般会 警察費 警察活 警察活動費 交通安全施設維持管理費 N64 動費 県民の暮らしの安心確保 昭和29年度~ 根 拠 警察法、道路交通法 針路 SDGsゴール 3 期間 法 令 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 分野施策 0202 交通安全対策の推進 SDGsターケット 3-6 1 事業概要 5 事業説明 交通管制センター中央装置、交通情報提供装置、交 (1) 事業内容 通信号機及び道路標識等の維持管理経費 ア 交通安全施設等維持管理費:交通安全施設消耗品、電気料、修繕料、回線料等 1,534,519千円 イ 施設管理者賠償責任保険 :保険料 800千円 ア 交通安全施設等維持管理費 ウ 交通安全施設等保守委託料:保守点検業務委託料 480,913千円 1,534,519千円 イ 施設管理者賠償責任保険 800千円 ウ 交通安全施設等保守委託料 480,913千円 (2) 事業計画 交通管制センター中央装置、交通情報提供装置、交通信号機及び道路標識等の適正な維持管理 (3) 事業効果 交通安全施設を適正に管理し、交通事故の防止及び交通の安全と円滑を図る。 2 事業主体及び負担区分  $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10) 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3,6人=34,200千円 財 源 内 訳 前年との 予算額 一般財源 国庫支出金 諸収入 対比 決定額 18,904 162, 575 △223, 643 2,016,232 1, 834, 753

事業名	交通安全施設等の維持管理		
単位事業名	交通安全施設等維持管理費	予算額	1, 534, 519千円

〇歳入 (単位:千円)

<u> </u>			(単位:十口/_
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察活動費補助金	18, 904		警察活動費補助金 補助率 5/10
諸収入・ 雑入	162, 575	△30, 770	交通安全施設損害賠償金
一般財源	1, 353, 040	△148, 808	
合計	1, 534, 519	△177, 688	

〇歳出 (単位:千円)

			<u> </u>
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	190	190	アドバイザー謝金
需用費	633, 783	△154, 096	交通安全施設等電灯料等
役務費	791, 355	△25, 232	交通情報回線料等
委託料	3, 432	223	警察庁規制データ変換委託

単位事業名	交通安全施設等維	持管理費	予算額	1,534,519千円	
					(単位:千円)_
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	105, 759	1, 227	  管制センター上位装置借上料電 	等	
合計	1, 534, 519	△177, 688			
単位事業名	施設管理者賠償責	任保険		予算額	800千円
〇歳入				(単位:千円)	
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	800	Δ8			
合計	800	Δ8			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
	800	△8	   交通安全施設賠償責任保険 		
合計	800	Δ8			

単位事業名	交通安全施設等保	<b>只守委託料</b>	予算額	480, 913千円	
○歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	480, 913	△39, 655			
合計	480, 913	△39, 655			
○歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
委託料	480, 913	 △39, 655	交通安全施設等保守委託		
合計	480, 913	△39, 655			

課室名:会計課 担当名:予算係 内線:2236

内線: 2236 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項	目		説明事業	
P25 自動	]車保管場所対策費	<b>L</b>		一般会計	警察費	警察活 動費	警察活動費	自動車保管場所対策費		
期 間 1 事業概: 自動車の駐: 路使用の適:	法 令 要 保管場所の確保等に 車に関する規制を発 正化、道路における	自動車の保管場所の確 に関する法律に基づき、 強化することにより、う る危険防止及び道路交通の保有者に自動車の付	5 事業説明 (1) 事業内容 自動車保管場	15.		針路 野施策	0202 交通安	暮らしの安心確保 全対策の推進 管場所標章印刷代、現地記		3-6
管場所を確信 用しないよ	保させ、道路を自動 う義務づける。	が東の保管場所として作	t (2) 事業計画 ア 保管場所証 イ 標章交付 (7) 保管場所 (4) 軽自動車 (ウ) 変更届出 (エ) 再交付申 (3) 事業効果	証明届出請	557 485 69 2 1	,000件 ,000件 ,000件 ,000件 ,000件 ,000件	)	*V*************		
2 事業主(県10/10)	体及び負担区分		ことから、保管 【活動指標 (	場所への アウトフ	<ul><li>駐車を循ット)</li></ul>	放底させん 標章交付		交通事故の原因、緊急自 交通渋滞や交通事故等の 0件		1となる
普通交付税 (区分)警察 (細節)交通: (積算内容) 4 事業費	費 (細目)警察活動 指導取締費 自動車保管場所証明									
			 財	源	内	訳				
	予算額	使用料・手数料	7.3	W4N	1,7	F/ \			一般財源	前年との 対比
決定額	581, 481	1, 297, 000							△715, 519	22, 552
前年額	558, 929	1, 253, 400							△694, 471	

	業名	自動車保管場所対策費		
単位	事業名	自動車保管場所対策経費	予算額	581, 481千円

**○歳入** (単位:千円)

			(十四:111/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 警察手数料	1, 297, 000	43, 600	自動車保管場所証明手数料
一般財源	△715, 519	△21, 048	
合計	581, 481	22, 552	

<u>〇歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	33, 622	4, 442	申請書・標章当印刷費等
委託料	538, 354	18, 110	保管場所証明事務委託
使用料及び賃借料	9, 505	0	保管場所標章作成機賃借料
合計	581, 481	22, 552	

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2236

(単位:千円)

番号 事業名 会計 款 項 説明事業 Ħ 一般会 警察費 警察活 警察活動費 交通指導取締関係諸費 交通指導取締総合経費 P26 動費 根 拠 警察法 県民の暮らしの安心確保 昭和29年度~ SDGsゴール 3 針路 法 令 期間 分野施策 | 0202 交通安全対策の推進 SDGsターケ゛ット 3-6 1 事業概要 5 事業説明 交通指導取締り及び事故捜査に必要な資機材等を確 (1) 事業内容 保し、悪質・危険性及び迷惑性の高い違反を重点に置 効果的な交通指導取締り、迅速・適正な事故捜査を推進するために必要な資機材等を確保する。 いた交通指導取締りの強化を図る。また、適正な交通 事故捜査を推進する。 (2) 事業計画 ア 取締、事故捜査関係 72,528千円 ア 取締、事故捜査関係 72,528千円 交通取締、事故捜査用資機材の整備及び点検 イ 機動取締関係 イ 機動取締関係 845千円 845千円 ウ 高速道路取締関係 433千円 交通機動隊員(白バイ隊員)の受傷事故防止資機材の整備 工 交通事故分析関係経費 ウ 高速道路取締関係 120,358千円 433千円 オ 交通事故記録解析装置(CDR装置)の整備 交通取締、受傷事故防止資機材の整備 466千円 工 交通事故分析関係経費 120,358千円 交通事故分析システム借上料、交通事故情報管理システム借上料 オ 交通事故記録解析装置(CDR装置)の整備 466千円 CDR装置ソフトウエア使用料等 2 事業主体及び負担区分  $(国1/2 \cdot 県1/2)$ 、(県10/10) (3) 事業効果 交通事故抑止、適正な事故捜査、交通秩序の確立、暴走族の根絶を図り、平穏な県民生活を守る。 【活動指標(アウトプット)】標章交付件数 557,000件 【成果指標(アウトカム)】安全で円滑な交通環境の実現 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)警察費 (細目)警察活動費 (細節)交通指導取締費 (積算内容)都道府県警察費補助金対象経費(1/2) 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0,6=5,700千円

		財源内訳						前年しの	
	予算額	国庫支出金						一般財源	前年との 対比
決定額	194, 630	20, 373						174, 257	△18, 607
前年額	213, 237	18, 548						194, 689	

事業名	交通指導取締総合経費		
単位事業名	取締、事故捜査関係	予算額	72, 528千円

<u>〇歳入</u> (単位:千円)

し成八			(年位・11]/
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金· 警察活動費補助金	20, 373	1, 825	警察活動費補助金 補助率 5/10
一般財源	52, 155	△4, 040	
合計	72, 528	△2, 215	

<u>○歳出</u> (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	15	△14	死体調査等立会謝金
需用費	22, 676	△1,717	交通取締関係消耗機材等
役務費	11, 981	△2, 928	速度測定器検査手数料等
委託料	16, 774	29	速度違反自動取締装置検査委託料
使用料及び賃借料	18, 686	19	デジタル解析図化機借上料等

単位事業名	取締、事故捜査関	係	予算額	72,528千円			
			(単位:千円)				
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
備品購入費	2, 396	2, 396	速度違反自動取締装置管理用端末購入費				
合計	72, 528	△2, 215					
単位事業名	機動取締関係			予算額	845千円		
○歳入					(単位:千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
一般財源	845	80					
合計	845	80					
					 (単位:千円)		
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容			
需用費	845	80	白バイ関係消耗品等				
合計	845	80					

単位事業名	高速道路取締関係		予算額	433千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	433	△49			
合計	433	△49			
〇歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	433	△49	緊急警告用具		
合計	433	△49			
					_
単位事業名	交通事故分析関係	経費		予算額	120, 358千円
○歳入					(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	120, 358	△16, 559			
合計	120, 358	△16, 559			

単位事業名	交通事故分析関係経費			予算額	120, 358千円				
〇歳出					(単位:千円)				
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容					
委託料	0	△16, 559							
使用料及び賃借料	120, 358	0	交通事故分析関係システムリー	-ス料					
合計	120, 358	△16, 559							
単位事業名	単位事業名 交通事故記録解析装置(CDR装置)の整備 予算額								
○歳入					(単位:千円)				
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容					
一般財源	466	136							
合計	466	136							
〇歳出					(単位:千円)				
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容					
使用料及び賃借料	466	136	ソフトウェア使用料等						
合計	466	136							

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2236

(単位:千円)

番号事業名		会計	款	項		1 1/010 ====	説明事業	(1 🖾 : 114)
P27 放置駐車違反取締強化対策経費				警察活 動費	警察活動費	交通指導取締関係諸費	W0711711C	
事業 昭和62年度~ 根拠 道路交通法	5 事業説明			針路		暮らしの安心確保 全対策の推進	SDGsコ゛ール SDGsターケ゛ット	
1 事業概要 交通の安全と円滑化を確保するため、放置駐車車両の取締強化及びパーキング・チケット等の適正な運用を図る。 ア 駐車対策経費 22,599千円 イ 放置車両確認事務等の民間委託 710,086千円  2 事業主体及び負担区分(県10/10)  3 地方財政措置の状況普通交付税(単位費用)(区分)警察費 (細目)警察活動費(細節)交通指導取締費(積算内容)放置駐車違反対策制度関係委託費 等	動認両 ・・徴認 ・・徴認 ・・徴認 ・・徴認 ・・数認 ・・数認 ・・数認 ・・数認	2,599年代の大学では、1000年代の大学には、1000	日 基 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主 主	トワークシステ 710,086千円 違反金関係事務 中(大宮百市) なで(川口 ット でででである。 でででである。 ででである。 ででである。 でででいる。 でででいる。 ででででいる。 でででいる。 ででいる。 でででいる。 でいる。	ム導入経費、パーキング 費、委託料、サーバ等借 き排除・追放し、交通需 官 9,613件) 官 9,746件) 官 10,615件) 件数 49,476件(令和4	・メーター及びチケ 上料等 要の妨げとなってい	ット関係経費	
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
予算額 使用料・手数料	諸 収 入	源_	内	訳			一般財源	前年との 対比
決定額 732,685 32,238	274						700, 173	△10, 706
前年額 743,391 33,911	177						709, 303	

事業名	放置駐車違反取締強化対策経費		
単位事業名	駐車対策経費	予算額	22, 599千円

〇歳入 (単位:千円)

<u>〇</u>			(単位:十円 <i>)</i> _
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・ 警察手数料	30, 484	△1, 558	パーキング・メーター等利用手数料
諸収入 • 実費弁償金	24	0	違法駐車車両移動等弁償金
諸収入・ 雑入	250	97	滞納者車両処分費
一般財源	△8, 159	1, 536	
合計	22, 599	75	

**○**歳出 (単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	2, 312	172	パーキングチケット(感熱紙)等
役務費	345	Δ4	違法駐車車両移動措置料金
委託料	19, 820	0	パーキングメーター等管理業務

単位事業名	駐車対策経費			予算額	22,599千円
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び賃借料	122	△93	住基ネット機器賃借料		
合計	22, 599	75			
単位事業名	放置車両確認事務	· 香託(指定事業)		予算額	710, 086千円
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
使用料及び手数料・ 警察手数料	1, 754	△115	放置車両確認事務法人登録申請	青等手数料	
一般財源	708, 332	△10, 666			
合計	710, 086	△10, 781			
〇歳出				(単位:千円)	
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
需用費	7, 480	△8, 858	放置車両確認事務委託関係消耗	€品	

単位事業名	放置車両確認事務委託(指定事業)	予算額	710, 086千円

(単位:千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	16, 996	1, 859	弁明書等郵送料等
委託料	591, 813		放置車両確認事務委託
使用料及び賃借料	93, 467	0	放置車両サーバ等借上料等
償還金、利子及び割引料	330	0	放置違反金過誤納還付金
合計	710, 086	△10, 781	

課室名:会計課担当名:予算係

内線: 2236 (単位:千円) 番号 事業名 説明事業 会計 款 項 目 団体補助金 (安全運転管理者協会、高速道路交通安全協議会) 一般会 警察費 警察活 警察活動費 交通安全意識高揚経費 P30 動費 事業 昭和48年度~ 県民の暮らしの安心確保 SDGsゴール 3 根拠 針路 期間 法 令 分野施策 | 0202 交通安全対策の推進 SDGsターケ゛ット 3-6 1 事業概要 5 事業説明 690千円 (1) 目的、必要性及び効果 ア (一社)埼玉県安全運転管理者協会 イ 埼玉県高速道路交通安全協議会 多発する交通事故を防止するため、民間の自主的交通安全活動を支援し、草の根的な交通安全活動を実施する。 620千円 (2) 変更事項(見直し前の事業名、予算額) なし 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 3 地方財政措置の状況 なし 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 なし

			財 源	内 訳		前年しの
	予算額				一般財源	前年との 対比
VI 1 1 -						
決定額	1, 310				1, 310	0
前年額	1,310				1, 310	

事業名	団体補助金(安全	運転管理者協会、	]		
単位事業名	(一社)埼玉県安	全運転管理者協会	予算額	690千円	
○歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	690	0			
合計	690	0			
					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
負担金、補助及び交付金	690	0	0 (一社) 埼玉県安全運転管理者協会への補助金		
合計	690	0			
単位事業名	埼玉県高速道路交	通安全協議会		予算額	620千円
〇歳入					(単位:千円)
款・節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
一般財源	620	0			
合計	620	0			

単位事業名	埼玉県高速道路交	通安全協議会		予算額	620千円
_ <b>○</b> 歳出					(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額		主な内容	
負担金、補助及び交付金	620	0	埼玉県高速道路交通安全協議会	会への補助金	
合計	620	0			

課室名: 会計課 担当名: 予算係 内線: 2236

内線: 2236 (単位:千円)

番号		事業名		会計	款	項		<b>I</b>		説明事業	
P30	団体補助金 ((一財)	埼玉県交通安全協会)		一般会	警察費	警察活	警察活	動費	(一財) 埼玉県交通安全	全協会補助	
				計		動費					
事業期間	昭和26年度~ 根 拠 法 令					針路 分野施策	02 0202		暮らしの安心確保 全対策の推進	SDGsコ゛ール SDGsターケ゛ッ	
	業概要		5 事業説明				1	, , , , , ,			
	打)埼玉県交通安全協会	2,670千円	(1) 目的、必要性			ため、民	間の自主	<b>三的交通</b> 第	安全活動を支援し、草の	根的な交通安全活動	を実施する。
			(2) 変更事項(見正 なし	直し前の	事業名、	予算額)					
	業主体及び負担区分										
(県10/	10)										
3 <del> </del> 粉			_								
なし	万 K I K II 巨 V W M										
	業費に係る人件費、組織	哉の新設、改廃及び増員									
なし											
	→ krkr ###		財	源	内	訳				én, n. l. Aret	前年との
	予算額									一般財源	対比
決定										2, 670	0
前年	額 2,670									2, 670	

事業名	団体補助金((一財)埼玉県交通安全協会)		
単位事業名	(一財) 埼玉県交通安全協会	予算額	2,670千円

<u>〇歳入                                    </u>			(単位:千円)_
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2, 670	0	
合計	2, 670	0	

_〇歳出			(単位:千円)
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	2, 670	0	(一財)埼玉県交通安全協会への補助金
合計	2, 670	0	